



RD-RN5008 [4TB HDD] *RD-RN5009* [8TB HDD]

RD-RN5016 [4TB HDD] *RD-RN5017* [8TB HDD]

4K解像度対応ネットワークレコーダー

8ch 16ch H.265+ 音声入力 1 音声出力 1 遠隔監視 RÖHS

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。

ARUCOM
TO SAFE SOCIETY

防犯カメラ・
監視カメラ専門店 株式会社アルコム

よくあるご質問

モニターに映像が映らない…



電源が入っているか、
正しく接続されているか確認する。

➔ 11 ページ

録画はできているのか…?



➔ 20 ページ

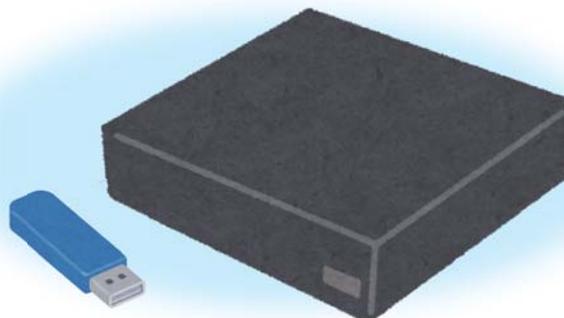
録画の再生・設定方法は…?



録画の設定 ➔ 20 ページ

録画の再生 ➔ 24 ページ

バックアップの方法は…?



➔ 27 ページ

ネットワークに接続してみるには?



➔ 30 ページ

ハードディスクのフォーマット方法は?



➔ 37 ページ

目次

はじめに

安全上のご注意	4
安全のため必ずお守りください	4
正しくご使用いただくために必ずお守りください	8
主な特徴	9
付属品	9
主要部品の交換時期	9
各部の名称とはたらき	10
防犯カメラ・監視モニターとの接続方法	11
キーボード入力について	12
マウスでの操作方法	12
ログインについて	13
メニュー表示について	14
ライブ画面アイコン表示について	16
クイック設定ツールバーについて	16
カメラ映像表示について	17

設定手順

IPカメラの追加方法	18
録画設定方法について	20
常時録画	20
スケジュール録画	21
モーション録画	22
モーションエリア設定	23
再生方法について	24
録画映像をバックアップする	27
バックアップデータの再生	29
ネットワーク設定	30

設定項目詳細

エクスポート	35
VCA検索※本機は対応していません	35
手動	36
HDD	37
録画	39
カメラ	43
設定	48
メンテナンス	54
シャットダウン	58

その他

仕様・外形寸法図	59
故障かな?と思ったら	60
アフターサービスについて	60

初期パスワード

パスワード a1111111



不正使用を防ぐため、変更することをお勧めします。
パスワードの変更はP.53ページを参照ください。

電源の入れ方

電源コンセントに電源アダプタをさし、
本体背面にある電源スイッチで電源を入れます。



電源スイッチ

電源の切り方

本体背面にある電源スイッチを切り、
電源アダプタを抜いてください。

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■ 記号の表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 記号の例



△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。



分解禁止

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜く



■ 電源コードを傷つけない

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステーブルなどで固定しないでください。
- 電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店に交換をご依頼ください。



禁止



■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

- ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
- 湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
- 定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よれを取り除いてください。



禁止

■ 電源コード接続時の注意

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
- 電源コードを束ねて使用しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。
- コンセントつき延長コードをご使用の場合は、接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの定格電力をこえないよう注意してください。火災の原因となります。



禁止

■ 電源コード接続時の注意

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。



分解禁止

安全上のご注意

警告

■ 内部に異物を入れない

●通風孔などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。

●万一異物が内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



禁止



電源プラグを
コンセントから抜け

■ 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない

万一内部に水などがに入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



電源プラグを
コンセントから抜け

■ ぬらさない

●本機は防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。

風呂場、シャワー室では使用しないでください。

●万一内部に水などがに入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



水場での
使用禁止

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。特に接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

■ 不安定な場所に設置しない

●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

●万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



禁止



電源プラグを
コンセントから抜け

■ 衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。



禁止

警告

■ 爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。



禁止

■ 電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。



禁止

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



禁止

注意

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

■ ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

■ 上に乗らない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

■ コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などに



■ 接続する機器の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。



禁止

■ 搬送・持ち運びについて

●通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。

●搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。



電源プラグを
コンセントから抜け

安全上のご注意

⚠ 注意

■ お手入れの際、長期間使用しない場合

電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。



■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。



■ 通風孔や放熱ファンをふさがない

- 本機はハードディスクなどによる放熱を換気するために通風孔や放熱ファンを設置しています。本機にカバーを掛けたり、ケースや本棚などで覆うと内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。本機をラックに設置する場合は、本機と壁面間などに隙間を開けてください。
- 上下間は1cm以上の隙間を開ける
- 左右は5cm以上を開ける
- ラック後面と壁面間は10cm以上開ける



禁止

■ 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

- 急激な温度（毎時10℃以上）変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。



禁止

■ 設置場所の注意

- 本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- 直射日光が当たる場所
 - 水にぬれやすい場所
 - 冷暖房器具や加湿器に近い場所
 - エアコンなどの冷風が直接当たる場所
 - ほこりやちりの多い場所
 - 火気のある場所
 - 磁気を持っているものに近い場所
 - 揮発性物質のある場所
 - 常に振動のある場所や車や列車など



禁止

付属のACアダプターについて

⚠ 危険

■ 分解したり、改造しない

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
- 直流電源器として使用しないでください。



分解禁止

■ 電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。



禁止

■ ぬらさない

- 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



水場での使用禁止

⚠ 警告

■ 付属のACアダプター以外は使用しない

付属のACアダプターをご使用ください。他のACアダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。



禁止

■ 他の機器に接続しない

感電の原因となることがあります。



禁止

■ 本機を幼児やお子様の手の届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない

誤ってACアダプターのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。



禁止

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



禁止

■ ぬれた手でACアダプターをさわらない

感電の原因となります。



ぬれ手禁止

安全上のご注意

付属のACアダプターについて

警告

- 煙が出ている、変な音やにおいがするとき、すぐにACアダプターをコンセントから抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 異常状態になった場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。



- 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら、ACアダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



- ACアダプターとコンセントの注意

- コンセントにゆるみやガタ付がある場合は接続しない
- ACアダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する
- ACアダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない
不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因となります。
- ACアダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない
差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因となります。
- ACアダプターをコンセントに差し込んだまま、本機のDC入力端子からDCプラグを抜いた状態にしない
ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因となります。
- ACアダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない
ほこりなどにより、ショートや発熱が起り火災の原因となります。
特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。
ほこりの清掃
ACアダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。
- コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと
定格電力を超えると火災の原因となります。



注意

- コード類は正しく接続する

ACアダプターのコードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して配線してください。足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



- コードを傷つけない

ACアダプターのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステーブルなどで固定しないでください。



- 不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



- 使用場所の注意

発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで、使用しないでください。



警告

付属の電源アダプターは本機専用です。他の機器には使用しないでください。



安全上のご注意

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ 本機のお手入れ

電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。仕上げは乾いた布でふいてください。

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるとの原因になります。

■ 録画内容は事前に確認してください

本機もしくは接続機器などの不具合などより、録画や再生ができない場合がありますので、必ず事前に録画を行ない、正常に再生されることを確認してください。録画内容などについての保証はできません。

万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、定期的にバックアップをお勧めします。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

警告

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。放熱穴をふさいだりしないようにしてください。機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

■ 通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない

ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。

■ 録画中、再生中にコンセントを抜くときは必ず“停止”してから抜いてください。

■ 電源を切ってから約30秒間は動かさない

電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。

■ 衝撃や振動を与えない

本機を床などには置かないでください。

■ 搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること

本機ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

ハードディスクの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 梱包していないハードディスクは、基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。
- ハードディスクの交換時には、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないようにしてください。

主な特徴

- H.265+圧縮方式による長時間記録
- プラグアンドプレイによる簡単接続
- 残しておきたい映像ファイルをロックしておく
- USBメモリへのデータバックアップ
- 本機をネットワーク経由でパソコンやスマートフォンから遠隔監視可能
- HDMI、VGA映像出力
- リモコン・マウス付属

主要部品の交換時期

本機を周囲温度25℃の環境下で連続してご使用した場合は、使用環境により部品が摩耗したり劣化します。本機の性能を維持させるために、下記部品の年数を目安に交換をお勧めします。交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

■ハードディスク

使用環境により寿命は異なりますが、ヘッドやモーターが磨耗劣化する部品です。通電時間が2年を超えることより、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。

■電池（バックアップリチウムバッテリー）

2年（周囲温度25℃）

付属品

次の部品が入っているかをご確認ください。

- ①電源ケーブル
- ②マウス
- ③リモコン（乾電池付属）
- ④HDMIケーブル
- ⑤取扱説明書（本書）
- ⑥保証書



各部の名称とはたらき

前面パネル



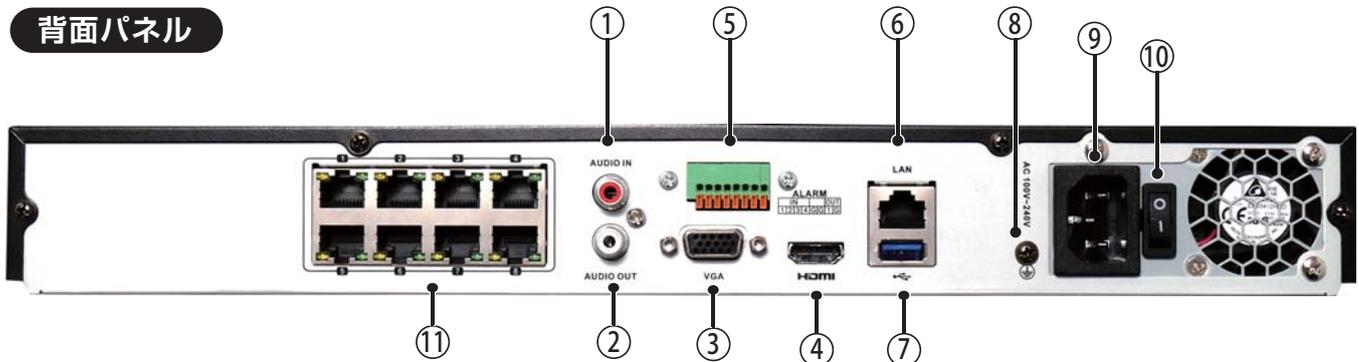
マウス・バックアップ



USBマウス・
USBメモリ等を
接続します。

①	電源	電源が入っている時は緑になります。
②	HDD	HDDにデータを書き込む間やデータを読み出す間、赤で点滅します。
③	Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能していると、青色に点滅します。
④	USBインターフェイス	USBマウスやUSBメモリなどの追加デバイス用のUSBポート。

背面パネル



①	音声入力端子(RCA)	⑤	アラーム入力用コネクタ	⑧	アース接続(起動時に接続要)
②	音声出力端子(RCA)		アラーム出力用コネクタ	⑨	電源
③	VGAインターフェイス(映像出力)	⑥	LANネットワークインターフェイス	⑩	電源スイッチ
④	HDMIインターフェイス(映像出力)	⑦	USBインターフェイス	⑪	PoE機能付ネットワークインターフェイス



- すべての接続が完了するまで電源は入れないでください。
- 接続を誤ると発煙したり、故障の原因になることがありますので注意してください。
- 電源ケーブルは抜けやすい構造となっております。本機を移動する場合は、電源ケーブルの抜けに注意してください。

防犯カメラ・監視モニターとの接続方法

下記の図を参考に防犯カメラ・監視モニターと本機を接続して使用します。

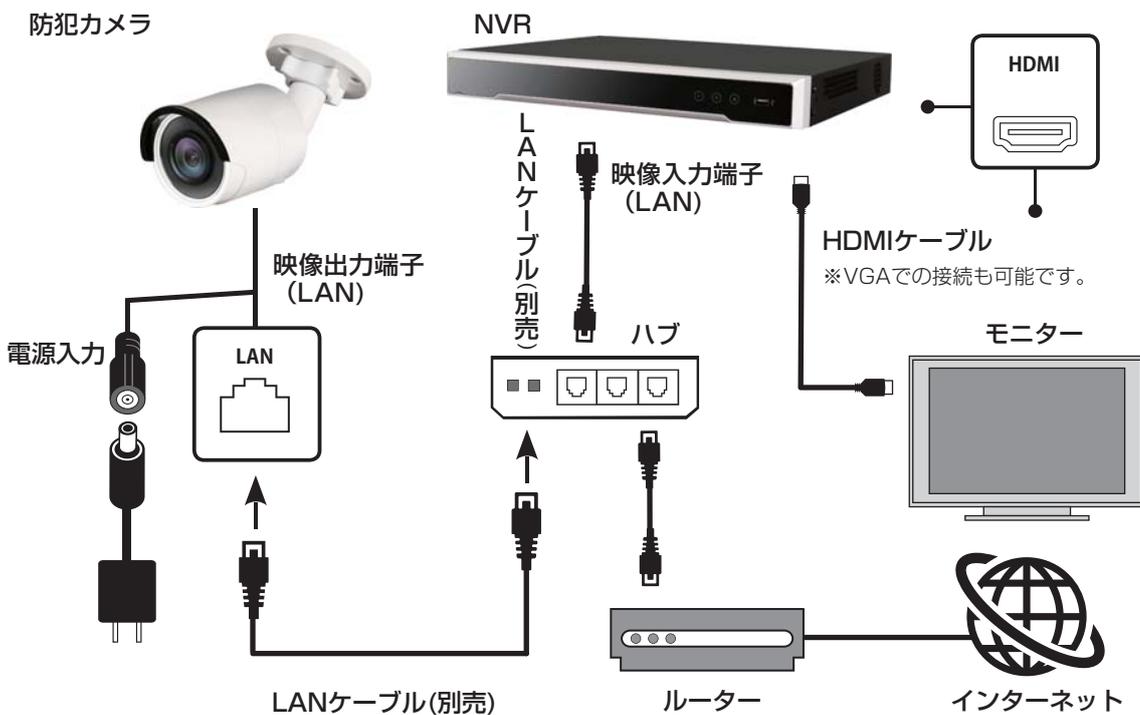
■カメラとNVRを直接LANケーブルで接続する場合

※レコーダーは PoE 機能を搭載しておりますので、カメラとレコーダーを直接接続する場合は付属電源アダプタでの電源供給は必要ございません。



■カメラとNVRの間にHUBなどを経由する場合

※カメラに付属電源アダプタを使って電源供給が必要です。



●カメラの接続、入れ替えなど行った場合は必ずレコーダーの電源を入れ直してください。

キーボード入力について

文字や数字を入力する際に表示されます。



0 ... 9	数字
↑	小文字/大文字
123 /, . ABC	キーボードの切替
← →	カーソルの移動
#+=	記号

A ... Z	アルファベット
← ×	バックスペース
␣	スペース
↵	エンターマーク / 退出
🌐	予約済み

マウスでの操作方法

付属のマウスを録画機背面にあるUSBコネクタに接続して使用します。



左クリック	シングルクリック	ライブビュー：チャンネルを選択してクリック設定メニューを表示します。
	ダブルクリック	ライブビュー：シングルスクリーンとマルチスクリーンを切り替えます。
	ドラッグ	プライバシーマスクおよび動体検知：ターゲットエリアを選択します。 デジタルズームイン：ドラッグしてターゲットエリアを選択します。 ライブビュー：チャンネル/時間バーをドラッグします。
右クリック	シングルクリック	ライブビュー：メニューを表示します。 メニュー：現在のメニューを開いて前のメニューに戻ります。
スクロールホイール	上にスクロール	ライブビュー：シングルスクリーンとマルチスクリーンを切り替えます。
	下にスクロール	プライバシーマスクおよび動体検知：ターゲットエリアを選択します。 デジタルズームイン：ドラッグしてターゲットエリアを選択します。 ライブビュー：チャンネル/時間バーをドラッグします。

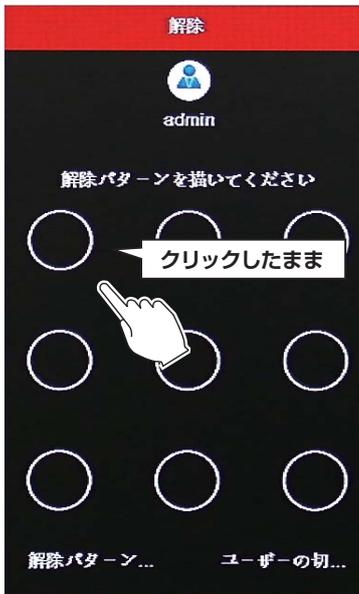
ログインについて

本機の操作には、ログイン（パスワードの解除）が必要です。

A.解除パターンを入力する場合

1 ログイン画面を表示します

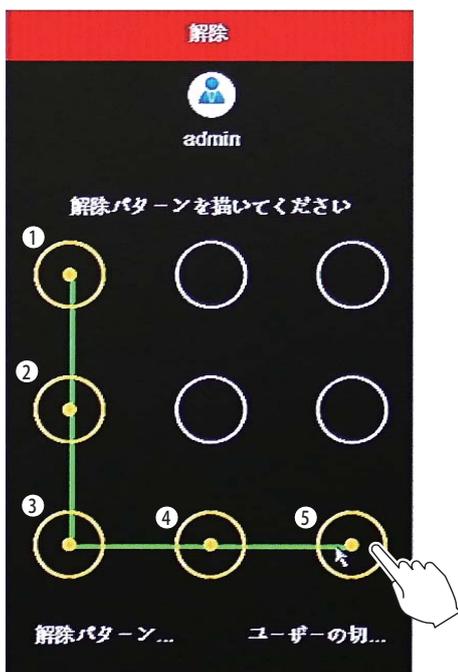
右クリックで【メニュー】などをクリックし、ログイン画面を表示します。



2 入力キーボードの表示

左上の○部分で左クリックし、クリックしたまま②→③→④→⑤と○を通るように線を引っ張ることで解除します。

※パターンが不明の場合右クリックをすることで、暗証番号での解除も可能です。



初期解除パターン: 上記パターン

B.暗証番号で解除する場合

1 ログイン画面を表示します

パターン解除画面で右クリックします。

2 パスワードを入力します

パスワード入力欄を左クリックし、表示されたキーボードでパスワードを入力します。文字を左クリックし、最後に【エンターマーク】を左クリックします。



初期パスワード: a1111111

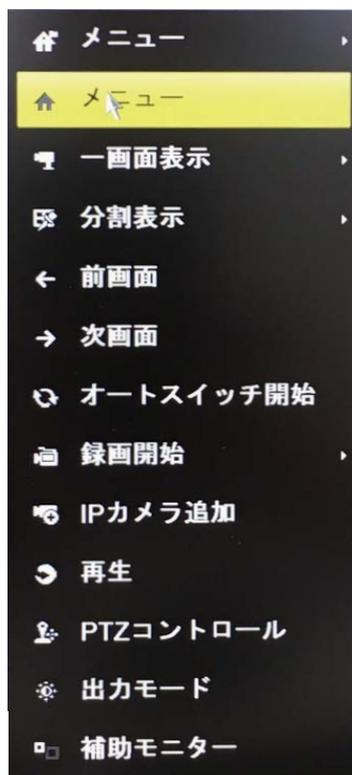
3 ログイン完了

【OK】を左クリックするとログインが完了し、操作が可能になります。



メニュー表示について

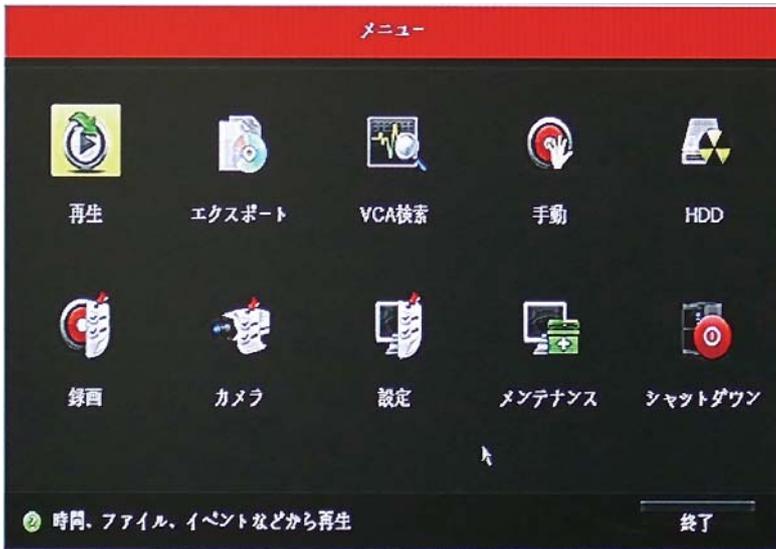
簡易メニュー ライブ映像表示時にマウスを右クリックすると簡易メニューが表示されます。



名称	説明
メニュー (ショートカット)	頻繁に使うメインメニュー項目が表示されます。 ※購入直後は表示されておられません。
メニュー	メインメニューを表示します。
一画面表示	任意のカメラを全画面で表示します。
分割表示	分割画面に切り替えます。
前画面	一画面表示時にひとつ前のチャンネルのカメラ映像を表示します。
次画面	一画面表示時にひとつ後のチャンネルのカメラ映像を表示します。
オートスイッチ開始 オートスイッチ停止	オートシーケンス (自動的にカメラの映像が切り替わり) の オン、オフを切り替えます。
録画開始	スケジュール録画、動体検知録画を始めます。
IPカメラ追加	IPカメラ管理画面を表示します。
再生	録画映像の再生画面を表示します。
PTZコントロール	カメラのPTZ操作画面を表示します。 ※設置カメラがPTZに対応している必要があります。
出力モード	映像出力モードを切り替えます。
補助モニター	ビデオ出力を切り替えます。

メニュー表示について

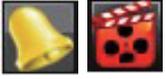
メインメニュー



アイコン	名称	説明
	再生	録画映像を再生します。
	エクスポート	録画映像を記憶メディアにコピーします。
	VCA検索	本機では使用致しません。
	手動	手動録画の設定を行います。
	HDD	HDDの状態を表示します。
	録画	録画設定を表示します。
	カメラ	カメラ設定を表示します。
	設定	ネットワークなどその他の設定を表示します。
	メンテナンス	ログ情報などメンテナンス情報を表示します。
	シャットダウン	シャットダウン、ログアウトなどの設定を行います。

ライブ画面アイコン表示について

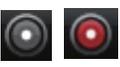
ライブビューモードでは、各チャンネルの画面右上にアイコンがあり、そのチャンネルの録画状態とアラームを示します。そのチャンネルが録画されているか、またはアラーム発生があるかを確認できます。

アイコン	説明
	アラーム (ビデオロス、ビデオ干渉、動体検知、センサアラーム)
	録画 (マニュアル録画、スケジュール録画、動体検知、アラーム起動録画)
	アラームおよび録画
	イベント/異常 (動体検知、センサアラーム、異常情報が画面左下に表示されます)

クイック設定ツールバーについて

各チャンネルの画面にはクイック設定ツールバーがあり、画面をクリックすると表示されます。



	マニュアル録画の有効化/無効化		インスタント再生		ミュート/音声オン
	キャプチャ		PTZコントロール		デジタルズーム
	画像調整		本機では使用しません		ライブビューストラテジー
	情報		閉じる		

 インスタント再生は、直前5分間の録画のみ表示します。録画が見つからない場合、直前5分間の録画がありません。

 デジタルズームは、選択したエリアを全画面にズームインできます。

カメラ映像表示について

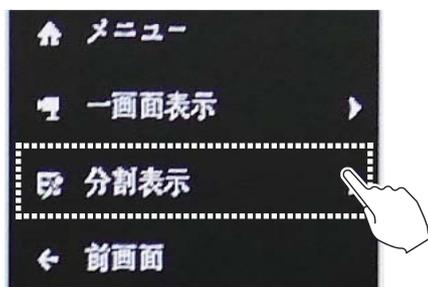
全画面表示

全画面表示したいカメラ映像にカーソルをあわせ、ダブルクリックします。
もう一度ダブルクリックすると分割画面に戻ります。

分割画面表示

ライブ映像が表示されている状態で、ダブルクリックします。

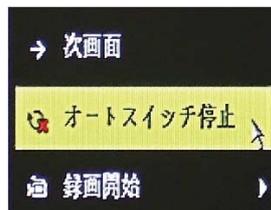
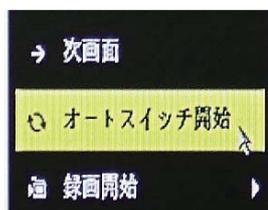
◆簡易メニューからの操作
簡易メニューからも設定可能です。



カメラ自動切り替え

- ①右クリックし簡易メニューを開きます。
- ②「オートスイッチ開始」を左クリックします。
- ③「オートスイッチ開始」を左クリックした際、4分割表示で全画面表示であれば、全画面でオートスイッチを行います。再度簡易メニューを開き「オートスイッチ停止」をクリックすると停止します。

※使用するには秒数の設定が必要です。50ページを参照ください



IPカメラの追加方法

①:レコーダー背面のポートへ接続する場合

接続方法



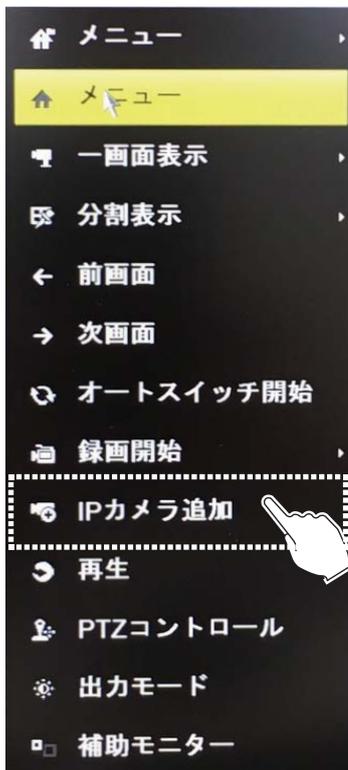
設定方法

◆当社のRD-CIから始まる型番のカメラを接続する場合

自動でカメラを認識し映像が表示されます

◆他社製のカメラを接続する場合

1 簡易メニュー内の【IPカメラ追加】を左クリックします。



2 設定したいチャンネルの [編集] をクリックします。

IPカメラアドレス	編集	アップダ...	カ...
192.168.254.101	[編集]	-	IPC
192.168.254.3	[編集]	-	IPC
192.168.0.114	[編集]	-	Ca

3 各項目を入力し「OK」をクリックします。

設定に問題なければステータス欄に [映像] が表示され、映像が表示されます。

設定に異常がある場合には [▲] が表示されます。

IPカメラ編集	
IPカメラNo.	D1
メソッド追加	手動
IPカメラアドレス	192.168.254.101
プロトコル	ONVIF
管理ポート	80
チャンネルポート	1
転送プロトコル	自動
ユーザー名	admin
パスワード	

IPカメラNo.
変更できません

メソッド追加
「手動」を選んでください。

IPカメラアドレス
接続されているカメラのIPアドレスを入力してください。
※初期セグメントは192.168.254.xxxです。

プロトコル
弊社オリジナルカメラ (RD-CIシリーズ) の場合は
HIKVISION、パナソニック製品の場合はPANASONIC
を選択してください。

管理ポート
接続されているカメラに設定されているポートを入力してください。※標準は「80」

チャンネルポート
固有のカメラ番号を選択してください。(他のカメラと重複しないもの)

転送プロトコル
「自動」を選択してください。

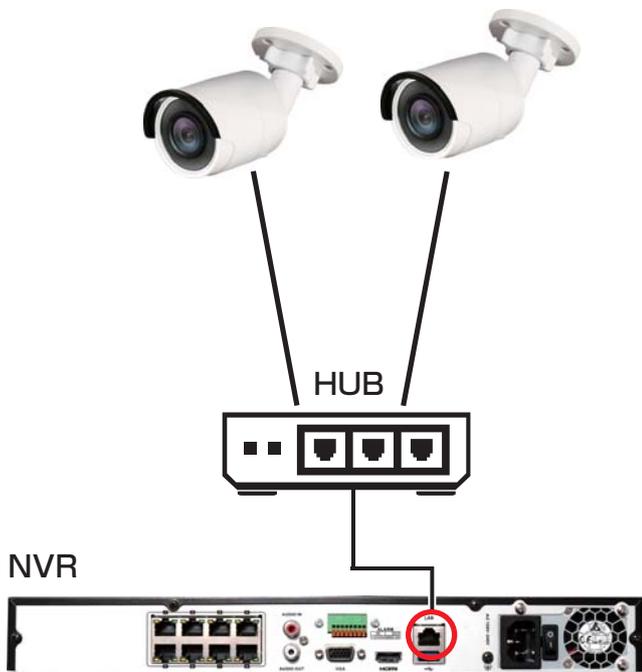
ユーザー名
接続しているカメラのユーザー名を入力してください。

パスワード
接続しているカメラのパスワードを入力してください。

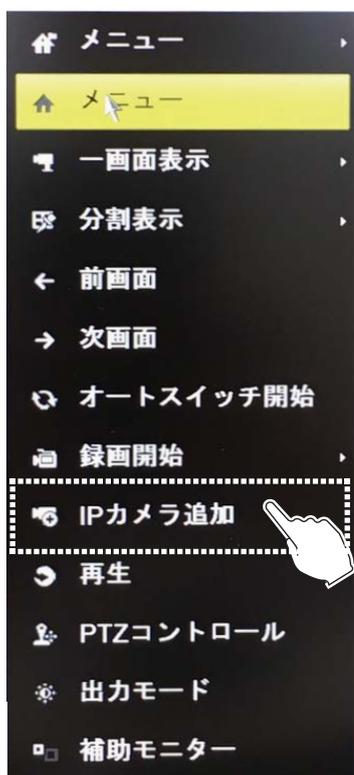
IPカメラの追加方法

②: HUBなどを経由して接続する場合

接続図



1 簡易メニュー内の【IPカメラ追加】を左クリックします。



2 設定したいチャンネルの をクリックしま

IPカメラアドレス	編集	アップダ...	カ
192.168.254.101		-	IP
192.168.254.3		-	IP
192.168.0.114		-	Ca

3 各項目を入力し「OK」をクリックします。

設定に問題なければステータス欄に が表示され、映像が表示されます。
設定に異常がある場合には が表示されます。

IPカメラ編集	
IPカメラNo.	D1
メソッド追加	手動
IPカメラアドレス	192.168.254.101
プロトコル	ONVIF
管理ポート	80
チャンネルポート	1
転送プロトコル	自動
ユーザー名	admin
パスワード	

IPカメラNo.
変更できません

メソッド追加
「手動」を選んでください。

IPカメラアドレス
接続したいカメラのIPアドレスを入力してください。
※レコーダーのIPアドレスのセグメントとあわせる必要があります。

プロトコル
弊社オリジナルカメラ (RD-CIシリーズ) の場合は
HIKVISION、パナソニック製品の場合はPANASONIC
を選択してください。

管理ポート
接続されているカメラに設定されているポートを入力してください。※標準は「80」

チャンネルポート
固有のカメラ番号を選択してください。(他のカメラと重複しないもの)

転送プロトコル
「自動」を選択してください。

ユーザー名
接続しているカメラのユーザー名を入力してください。

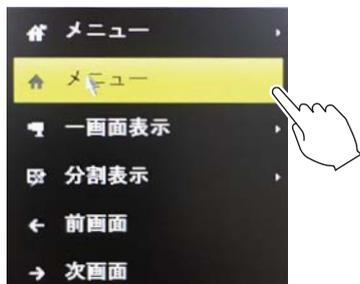
19 パスワード
接続しているカメラのパスワードを入力してください。

録画設定方法について

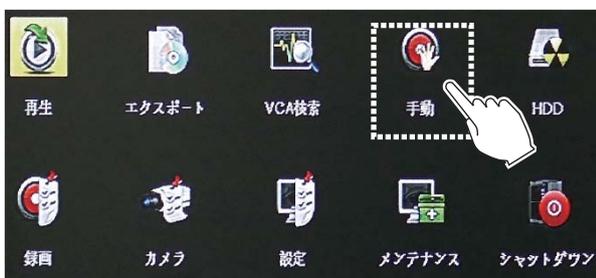
常時録画設定

設定方法

- 1 ライブ映像時に、右クリックで簡易メニューを表示し、【メニュー】をクリックします。



メニューが表示されるので、【手動】をクリックします。



- 2 録画をしたいカメラの左側のボックスを左クリックし【ON】に設定します。

※IPカメラの左側のボックスを操作することですべてのカメラの設定を変更します。



- 3 【戻る】を左クリックでメインメニューに戻り、右クリックで閉じます。



- 3 録画中を表す  が表示され、録画が開始されます。



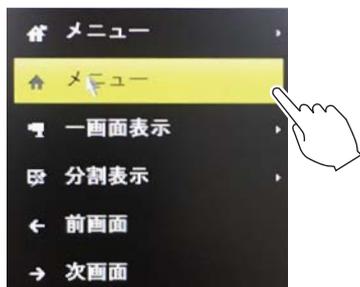
録画設定方法について

スケジュール録画設定

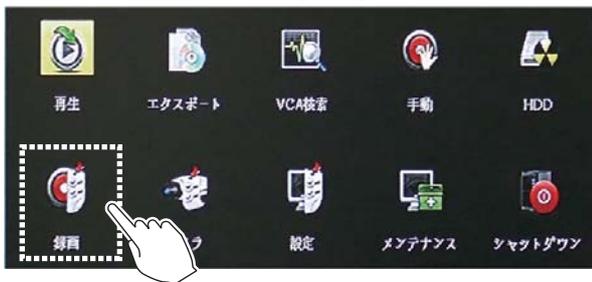
※マウスでの操作になります。

設定方法

- 1 ライブ映像時に、右クリックで簡易メニューを表示し、【メニュー】をクリックします。



メニューが表示されるので、【録画】をクリックします。



- 2 【スケジュール録画】を左クリックします。

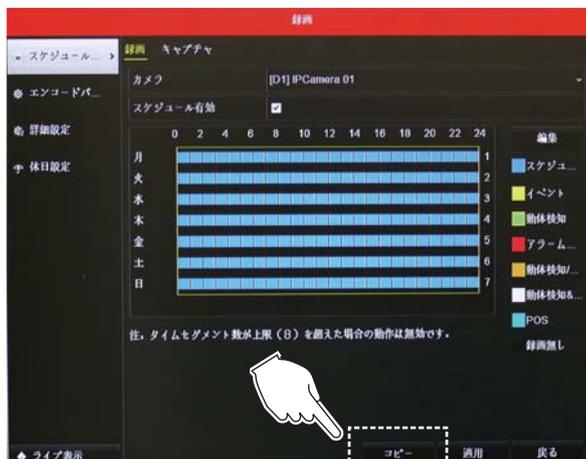


- 3 スケジュール録画をしたい曜日、時間を左クリックします。

※左クリックを押したまま範囲を右へドラッグすることで一括設定も可能です。

◆ 設定を他チャンネルにコピーする場合

【コピー】を左クリックします。



コピーしたいカメラにチェックを入れます。
※IPカメラにチェックを入れることで全てのカメラにチェックを入れることが可能です。

設定後、【OK】をクリックします。



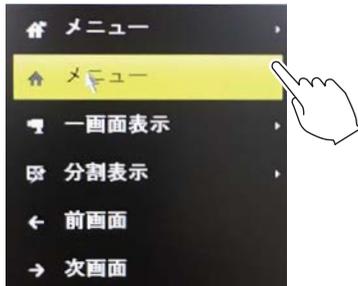
録画設定方法について

モーション録画設定

画面に動きがあった際、録画を開始する設定です。

設定方法

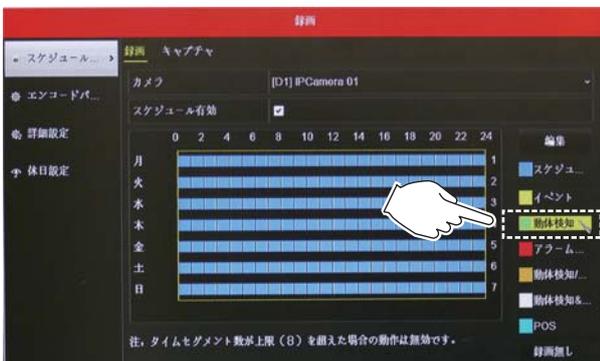
- 1 ライブ映像時に、右クリックで簡易メニューを表示し、【メニュー】をクリックします。



メニューが表示されるので、【録画】をクリックします。



- 2 【動体検知録画】を左クリックします。



- 3 動体検知録画をしたい曜日、時間を左クリックします。

※左クリックを押したまま範囲を選択することで一括設定も可能です。



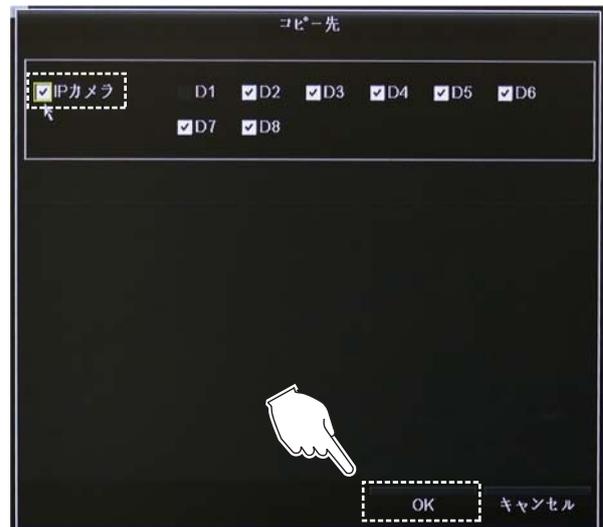
- ◆ 設定を他チャンネルにコピーする場合

【コピー】を左クリックします。



コピーしたいカメラにチェックを入れます。
※IPカメラにチェックを入れることで全てのカメラにチェックを入れることが可能です。

設定後、【OK】をクリックします。



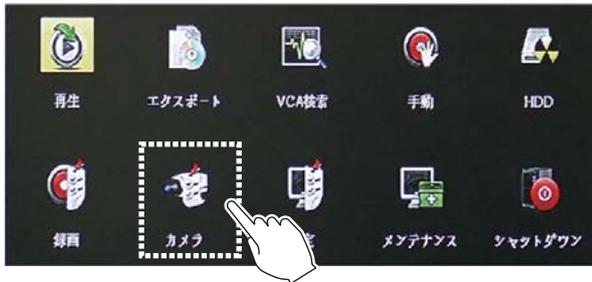
次ページに続きます。

録画設定方法について

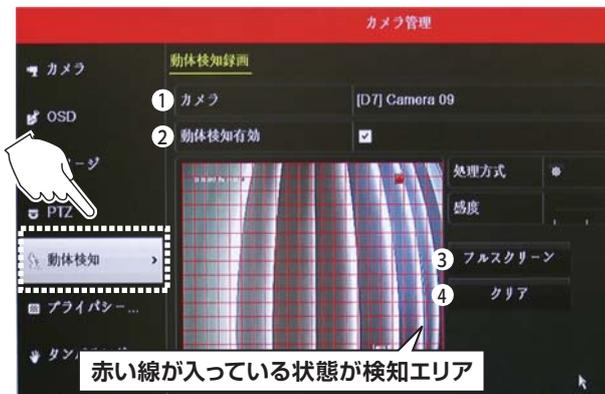
モーションエリア設定

モーションエリアの設定を行います。

- 1 カメラを左クリックします。



- 2 動体検知を左クリックします。



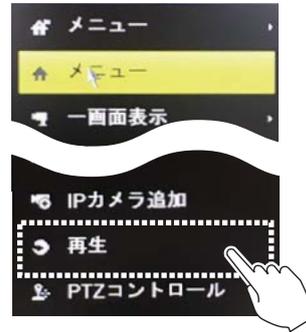
- ① **カメラ**
設定するカメラを選択します。
- ② **動体検知有効**
チェックを入れます。
- ③ **フルスクリーン**
すべての範囲で動体検知を行います。
※赤い線が入っている状態が検知する状態です。
- ④ **クリア**
全ての範囲で動体検知を行いません。

※カメラ映像上で左クリックをすることで個別に設定することも可能です。

再生方法について

通常再生

- 1 ライブ映像時に、右クリックで簡易メニューを表示し、【再生】をクリックします。



- 2 再生画面が表示されます。
右上のカメラリストから再生したいカメラにチェックをいれてください。

- 3 右下のカレンダーから、再生したい日付を選択します。
録画データがある日には日付に赤や青など色がついております。

- 4 下部のツールバーを使用して再生したい時間を選択します。
マウスで進行状況バーのポイントをクリックするか、進行状況バーをドラッグして時間を指定します。



再生方法について

再生画面説明

録画の開始時刻、終了時刻を表します



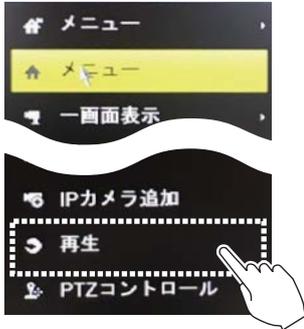
1...タイムバーを1時間単位で表示します 2...タイムバーを2時間単位で表示します
6...タイムバーを6時間単位で表示します 24...タイムバーを24時間単位で表示します

アイコン	説明
	音声オン/ミュート
	切り取りの開始/停止
	画像キャプチャ
	ファイルのロック
	デフォルトタグの追加
	カスタムタグの追加
	ビデオクリップ、キャプチャ画像、ロック済みファイル、タグのファイル管理
	逆再生/一時停止
	停止
	デジタルズーム
	30秒早送り
	30秒巻き戻し
	一時停止/再生
	現在再生している日付の前日へ移動
	現在再生している日付の翌日へ移動
	スロー再生
	早送り
	全画面
	退出

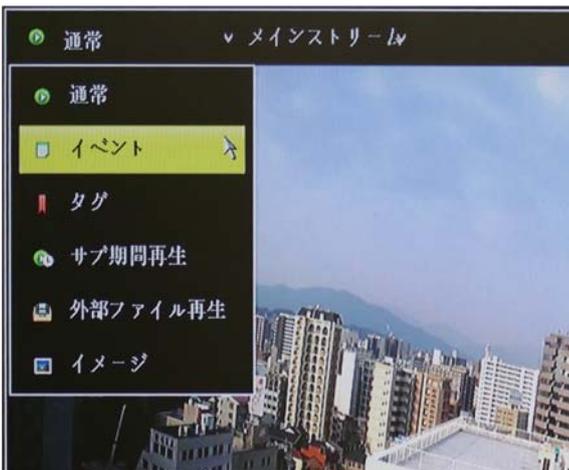
再生方法について

イベント検索再生

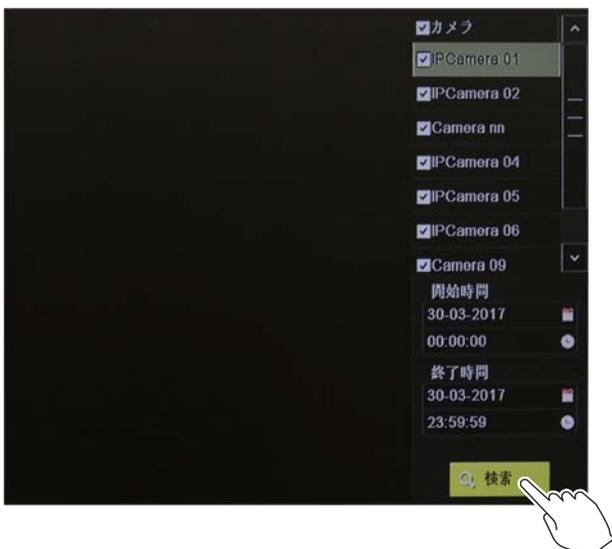
- 1 ライブ映像時に、右クリックで簡易メニューを表示し、【再生】をクリックします。



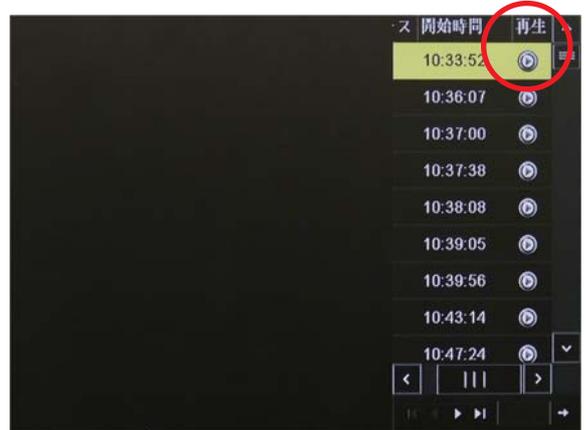
- 2 再生画面が表示されます。
左上の【通常】を左クリックし【イベント】を選択します。



- 3 検索したいカメラにチェックを入れ【検索】を左クリックします。



- 4 表示されたリストから、再生したいリストの再生アイコンをクリックすると再生が始まります。



録画映像をバックアップする

録画した映像をUSBメモリーや外付けHDDにコピーすることができます。コピーした映像はパソコンで見ることができます。

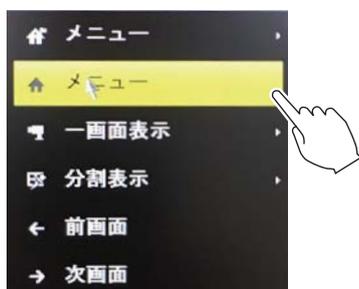
1 メディアを挿入します。

本体前面パネルまたは背面にあるUSBコネクタにUSBメモリーや外付けHDDを挿入します。

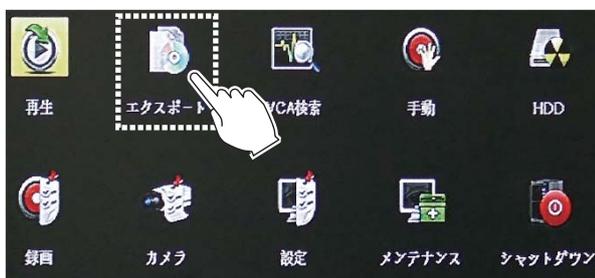


※あらかじめ再生画面にて、バックアップしたい年月日、時間を調べておきます。(1回につき1~2時間程度)

2 ライブ映像時に、右クリックで簡易メニューを表示し、【メニュー】をクリックします。



メニューが表示されるので、【エクスポート】をクリックします。



3 バックアップするカメラ、時間を選択します。



- ① バックアップしたいカメラを選択します。
- ② 記録されている一番古いデータと新しいデータが表示されています。
- ③ バックアップする録画モード「メインストリーム」もしくは「サブストリーム」を選択します。
- ④ バックアップする録画タイプを選択します。
- ⑤ バックアップするファイルタイプを選択します。
- ⑥ バックアップしたい期間の開始時間を設定します。
- ⑦ ①~⑥を設定し、「検索」をクリックします。

4 該当範囲の録画データが表示されます。



- ① バックアップしたいカメラを選択します。
- ② 全てバックアップをクリックすると表示されているファイル全てがバックアップ対象になります。
- ③ 全てバックアップをクリックすると表示されているファイル全てがバックアップ対象になります。

次ページに続きます。

録画映像をバックアップする

5 バックアップ形式を選択します。



- ① バックアップ形式を選択します。
- ② 「エクスポート」をクリックし次に進みます。

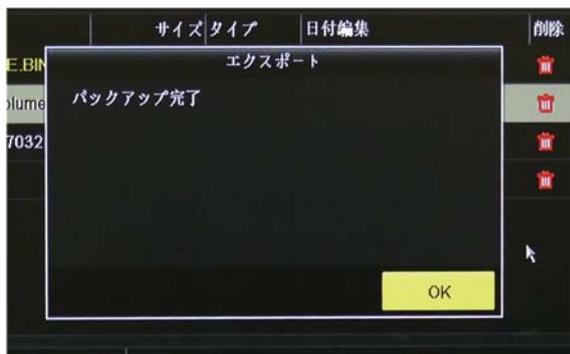
6 映像とPlayerを選択します。



- ① エクスポートするデータを「映像とログ」「Player」いずれかから選択します。

※MP4形式でエクスポートした際は、再生する為に「Player」が必須です。「映像とログ」をエクスポート後、「Player」を再度エクスポートしてください。

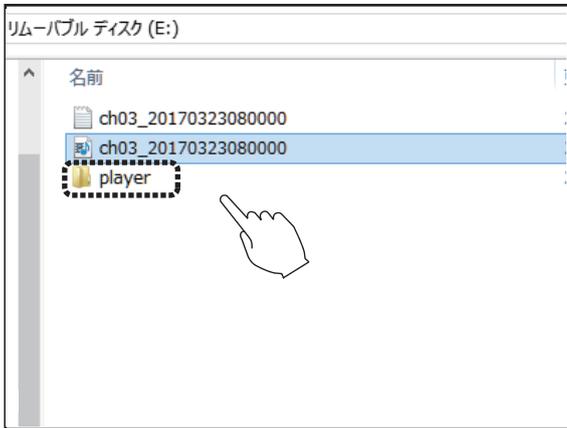
- ② 「OK」をクリックするとエクスポートが開始し完了画面が表示されます。



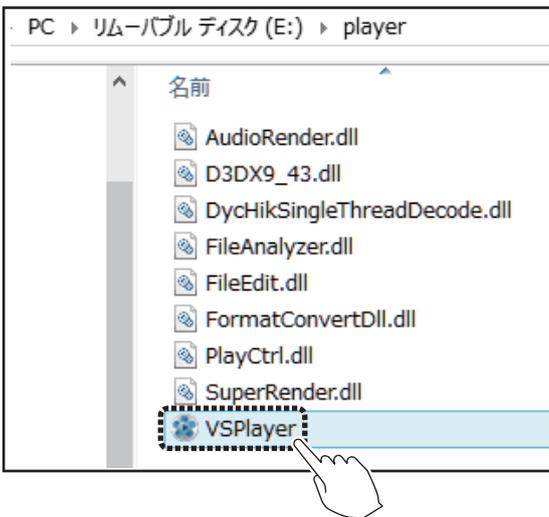
バックアップデータの再生

外部機器に保存したデータをパソコンで再生することができます。

- 1** バックアップした機器をPCに接続し、「Player」を開きます。



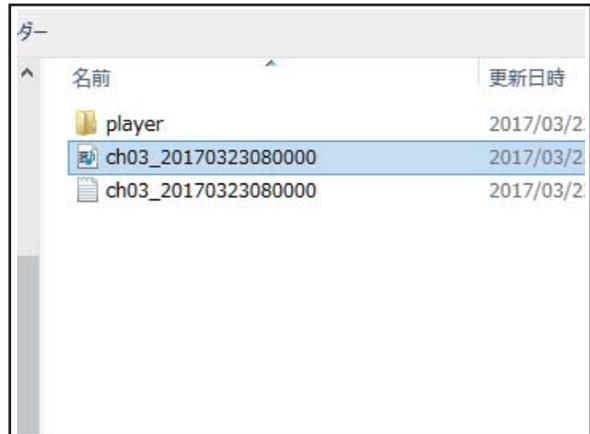
- 2** 「VSPlayer」を起動します。
ファイルの中の「VSPlayer」を起動します。



- 3** データの追加
右下の「Add」をクリックします。



再生したいデータを選択し「開く」をクリックします



- 4** データを選択し再生

該当データが右側のプレイリストに追加されます。
データを選択し再生ボタンを押すと再生が開始します。



ネットワーク設定

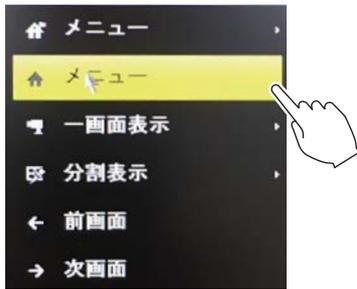
レコーダー設定手順

1 NVRにLANケーブルを接続する

LANケーブル挿入口にLANケーブルを接続します。

2 設定を開く

ライブ映像時に、右クリックで簡易メニューを表示し、【メニュー】をクリックします。



【設定】をクリックします。



2 IPアドレスの確認と設定



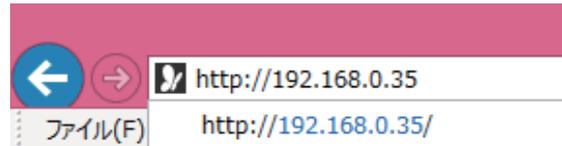
- ① DHCPにチェックを入れます
- ② 「適用」をクリックすると各項目が自動的に入力されます。
- ③ DHCPのチェックを外します
- ④ 「適用」をクリックします。

3 PCで Internet Explorerを開く

アドレス入力欄にIPアドレス番号を入力します。

※警告の表示が出たら許可して進めてください。

○同一ネットワーク内からの接続
http://NVRに割り当てられたIPアドレス



4 インストール後、ログイン画面が表示されます



初期パスワード

ユーザー : admin パスワード : a1111111

【ユーザー名】と【パスワード】を入力し、ログインを押すとメインページが表示されます。



【メインページ】

- 遠隔監視にはグローバルIPアドレスの確認と、ポートの開放が必要となります。
 - ・グローバルIPアドレスは下記アドレスにアクセスして確認してください。
www.arucom.ne.jp/port/
 - ・ポートの開放方法についてはご使用のルーターのメーカーへお問い合わせください。

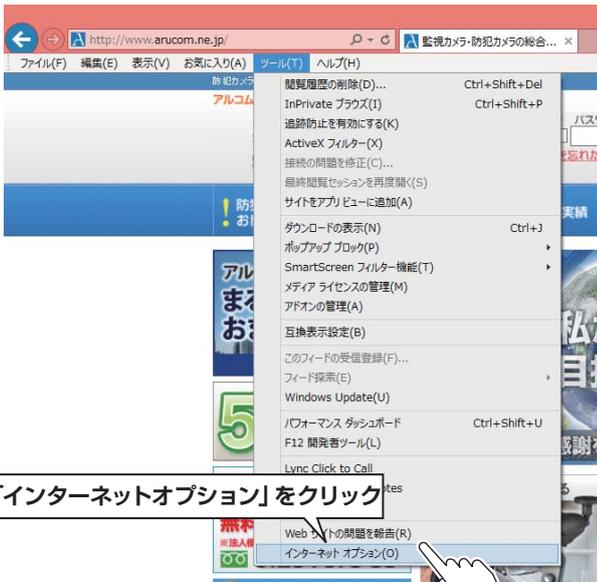
ネットワーク設定 PC設定手順

インターネットに接続されたパソコンから映像の閲覧、操作設定ができます。(対応OS WINDOWS 7/8/10/MAC)
※事前に「ネットワーク」の設定を行う必要があります。

PCの初期設定(Active Xの設定変更手順)

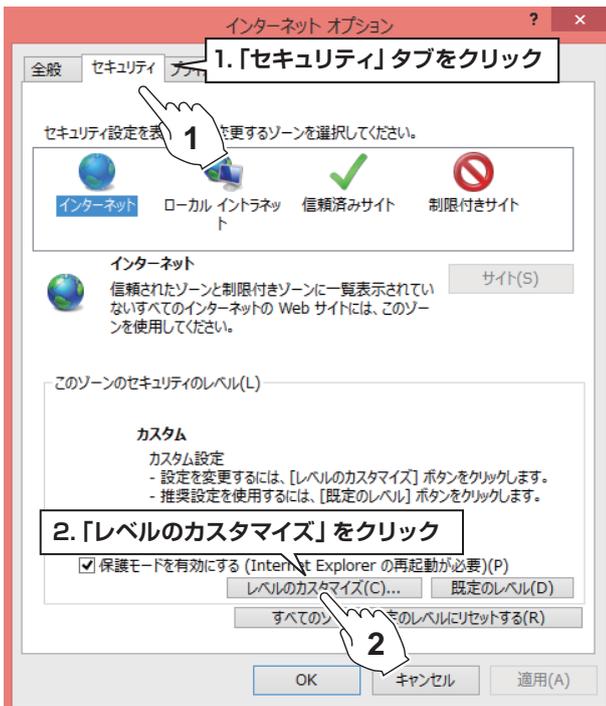
PCでインターネットエクスプローラーを開きます。
※新しいバージョンを利用してください。

「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択。

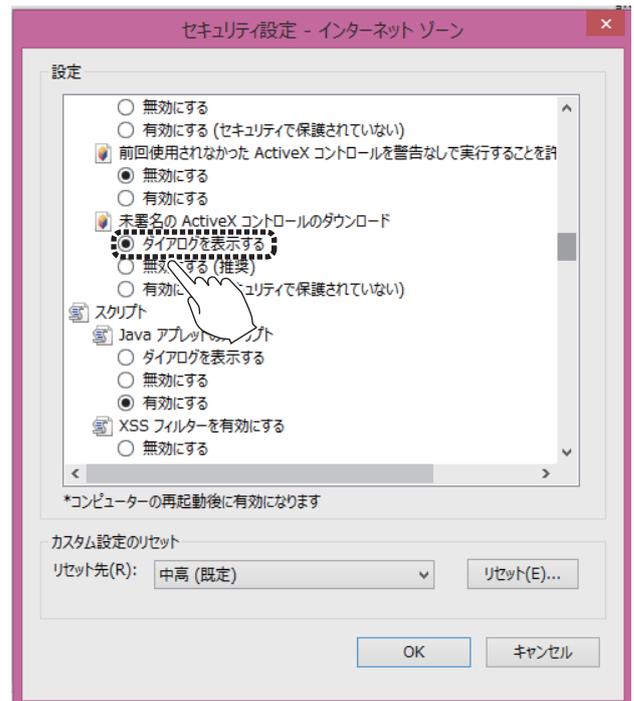
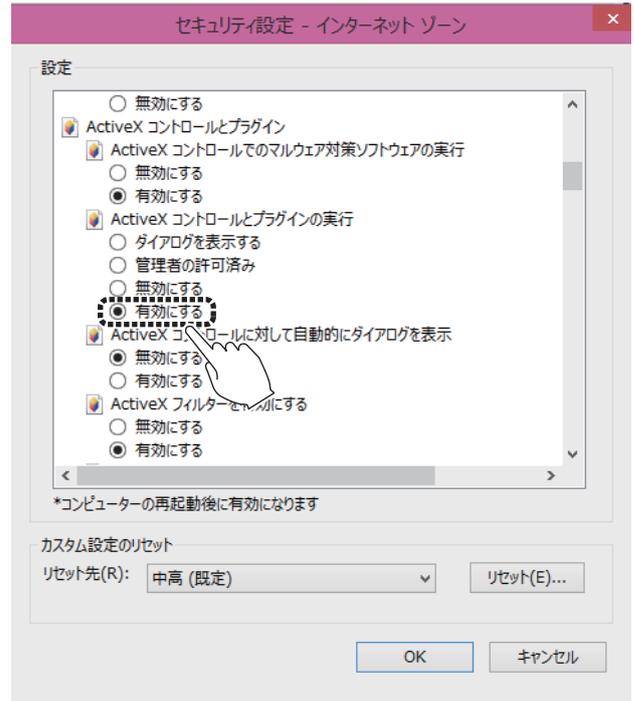


「インターネットオプション」をクリック

「セキュリティ」タブをクリックしてウィンドウを切り替え
画面下部「レベルのカスタマイズ」をクリックします。



- ActiveXの項目を変更する。
- ActiveXコントロールとプラグインの実行の項目を【有効にする】に設定します。
- 未署名のActiveXコントロールのダウンロードを【ダイアログを表示する】に設定します。

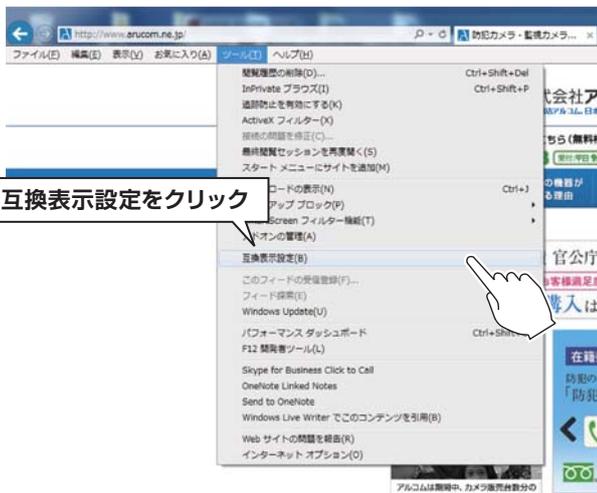


ネットワーク設定 PC設定手順

互換表示設定

PCでインターネットエクスプローラーを開きます。
※新しいバージョンを利用してください。

「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択。



追加するWebサイトの欄にIPアドレスと:(コロン)、ポート番号を入力、追加します。

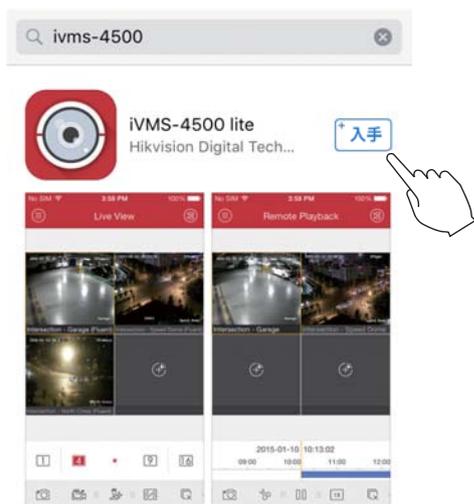


ネットワーク設定 スマートフォンからのアクセス手順

1 スマートフォンにアプリをダウンロードします。

専用アプリ【iVMS-4500】をダウンロードします。

iPhoneの場合：App Storeで【iVMS-4500】を検索
Androidの場合：Google Playで【iVMS-4500】を検索



2 アプリ:iVMS-4500を起動します。

エリアを選択します
(初期起動のみの設定です。)
アジアからJapanを選択します。



3 「入る」をタップし起動します。

エリアを選択します
(初期起動のみの設定です。)
画面が起動したら、左上のアイコンをタップします。



4 レコーダー情報を追加します。

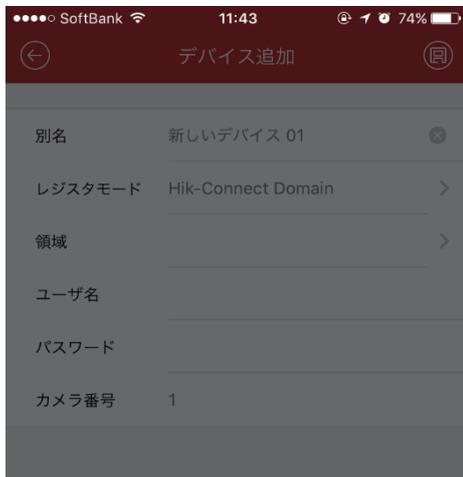
「デバイス管理」をタップし、右上の「+」をタップします。



「手動追加」をタップします。
設定画面が表示されます。
「レジスタモード」を変更します。

次ページに続きます。

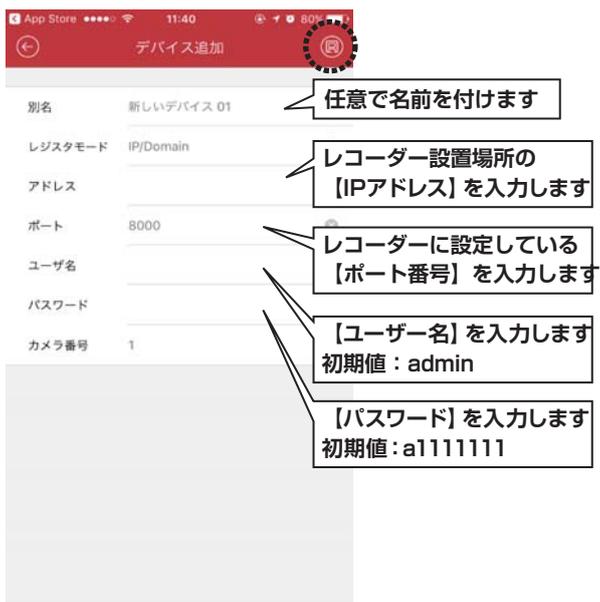
登録タイプの中から「IP/Domain」を選択します。



登録タイプ



「別名」「アドレス」「ポート(変更されている場合)」「ユーザ名」「パスワード」を入力し、右上のアイコンをタップで保存します。

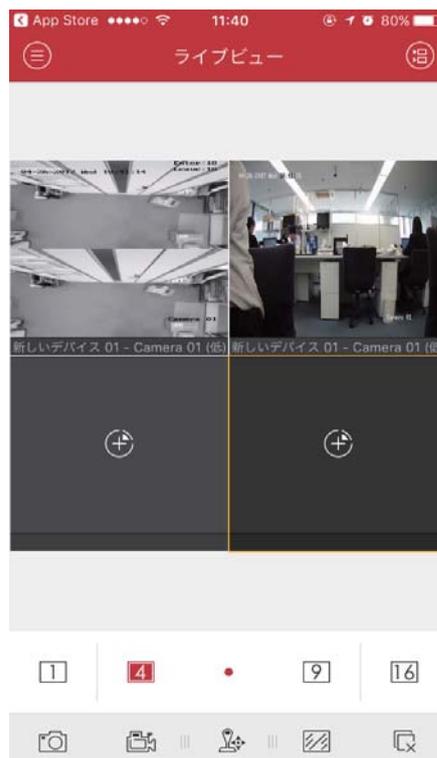


5 登録ができれば、ライブ映像が表示されます。

入力に問題無ければ、画面下部に「ライブビュー開始」が表示されるのでタップ



映像が表示されます。

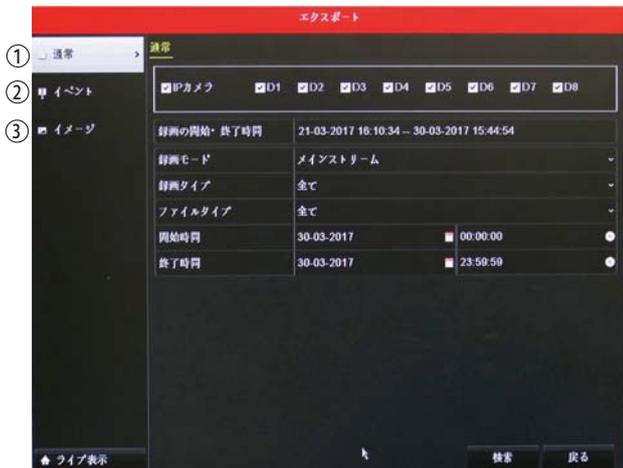


エクスポート

録画した映像をバックアップする為に使用します。操作方法は27ページをご覧ください。



1 エクスポート



① 通常

全てを対象に検索します。

② イベント

動体検知などアラームの反応を対象に検索します。

③ イメージ

キャプチャした画像を対象に検索します。

2 検索結果



① チャート

イメージ画像をメインに表示されます。

② リスト

カメラ番号、時間等テキスト情報をメインに表示されます。

VCA検索

本機能は現在販売のカメララインアップには対応していません。

※2017年5月現在

手動

手動録画の設定を行います。

ON に変更することで該当のカメラの録画を開始します。

1 録画

The screenshot shows the '手動' (Manual) settings screen. On the left, there is a navigation menu with '録画' (Recording) selected. Below it are '連続キャプチャ' (Continuous Capture) and 'アラーム録画' (Alarm Recording). At the bottom left is 'ライブ表示' (Live View). The main area is titled '録画' and contains the following settings:

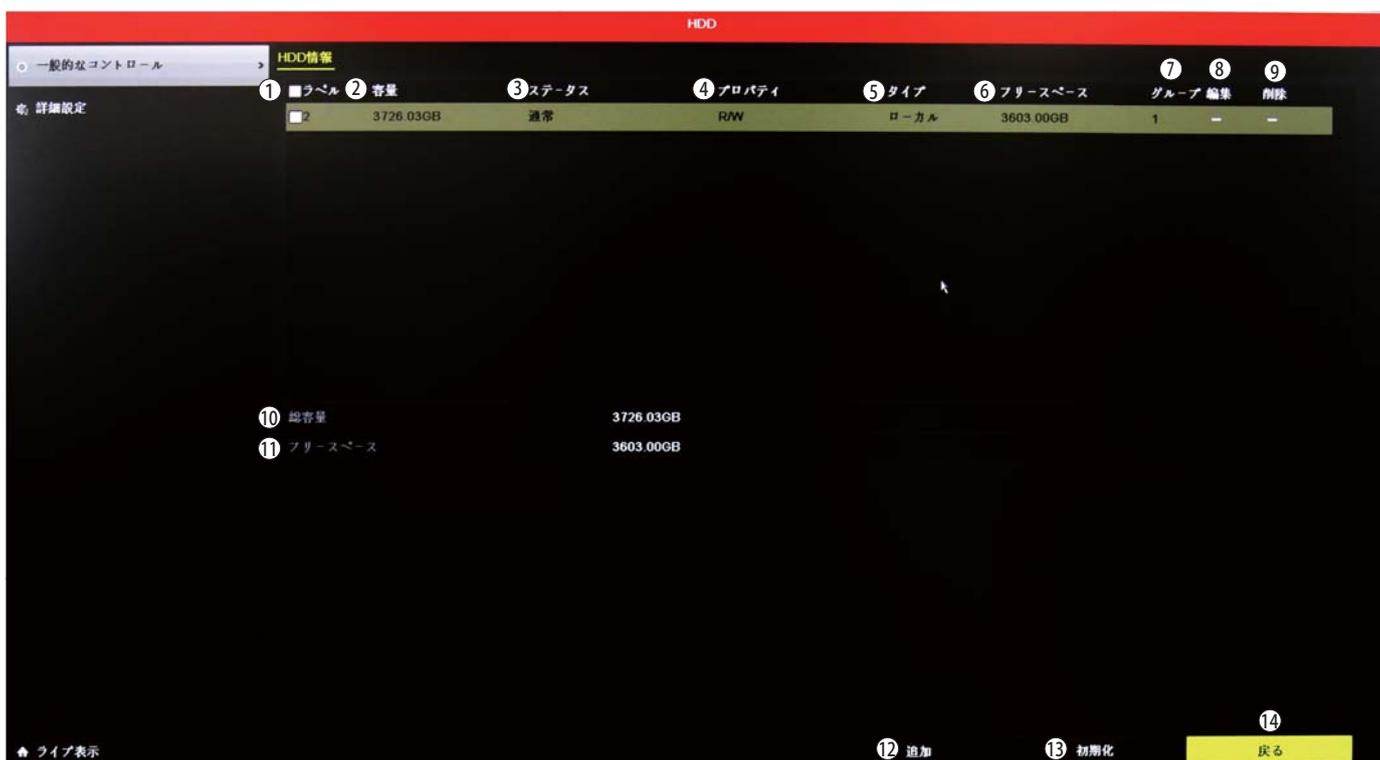
- IPカメラ** (IP Camera): A row of eight toggle switches labeled D1 through D8. The 'ON' indicator is highlighted with a dashed circle and a hand icon pointing to it.
- スケジュール録画** (Schedule Recording): A toggle switch currently set to 'ON'.
- 動体検知録画** (Motion Detection Recording): A toggle switch currently set to 'OFF'.

At the bottom right, there is a '戻る' (Back) button.

HDD



一般的なコントロール



① ラベル

搭載されているHDDに割り振られている番号を表示します。

② 容量

全容量を表示します。

③ ステータス

HDDの状態を表示します。

④ プロパティ

HDDの書き込み状態を表示します。

⑤ タイプ

※本機では使用致しません。

⑥ フリースペース

空き容量を表示します。

⑦ グループ

※本機では使用致しません。

⑧ 編集

※本機では使用致しません。

⑨ 削除

※本機では使用致しません。

⑩ 総容量

搭載HDDの総容量が表示されます。

⑪ フリースペース

搭載HDDの総空き容量が表示されます。

⑫ 追加

HDDを追加します

⑬ 初期化

HDDを初期化します

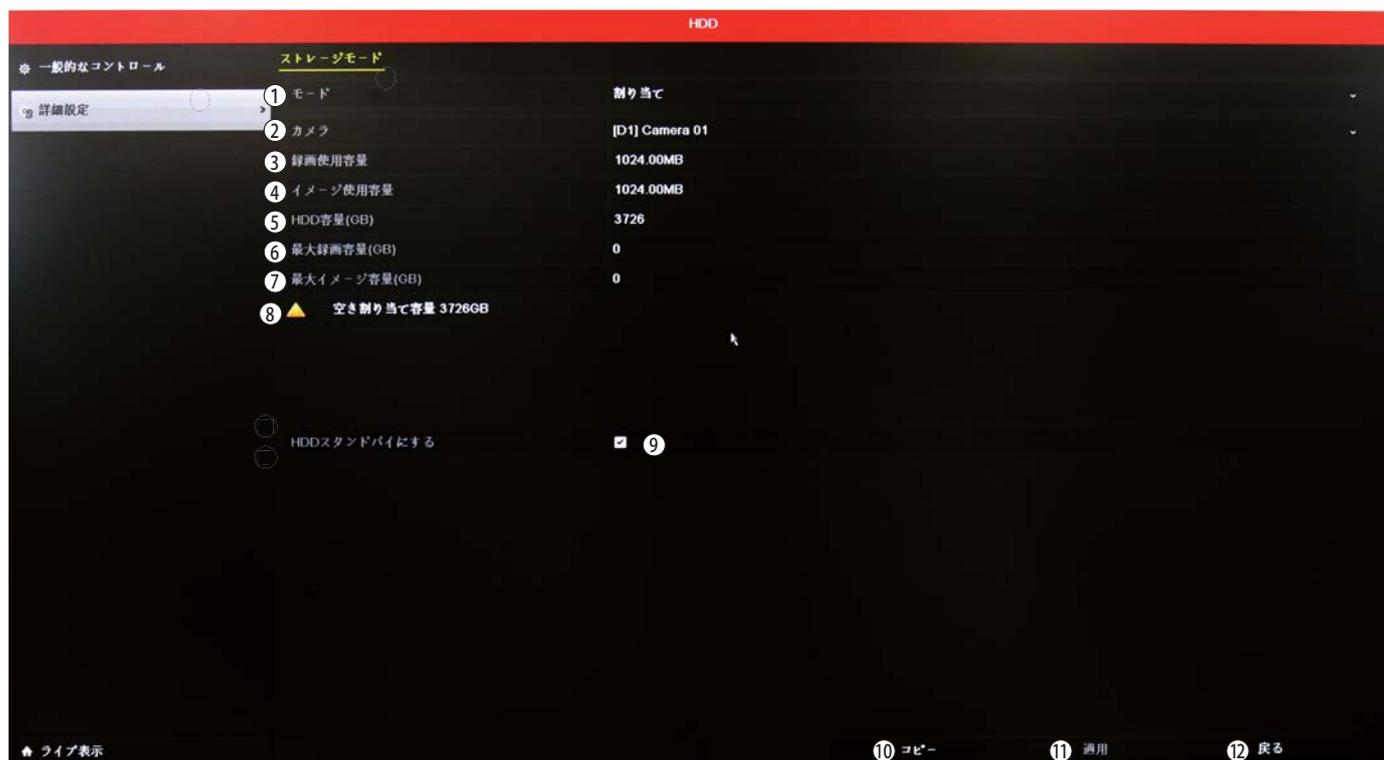
⑭ 戻る

前の画面に戻ります

HDD



詳細設定



① モード

本機では使用致しません。

② カメラ

情報を閲覧するカメラを選択します。

③ 録画使用容量

②で選択したカメラが使用している容量を表示します。

④ イメージ使用容量

②で選択したカメラが使用しているキャプチャ録画容量を表示します。

⑤ HDD容量 (GB)

HDDの残容量を表示します。

⑥ 最大録画容量 (GB)

②で選択したカメラの録画に使用できる残りの容量を表示します。

⑦ 最大イメージ容量

②で選択したカメラのキャプチャ録画に使用できる残りの容量を表示します。

⑧ 空き割り当て容量

HDDの総容量を表示します。

⑨ ※本機では使用致しません。

⑩ コピー

設定をコピーします

⑪ 適用

変更した設定を保存します。

⑫ 戻る

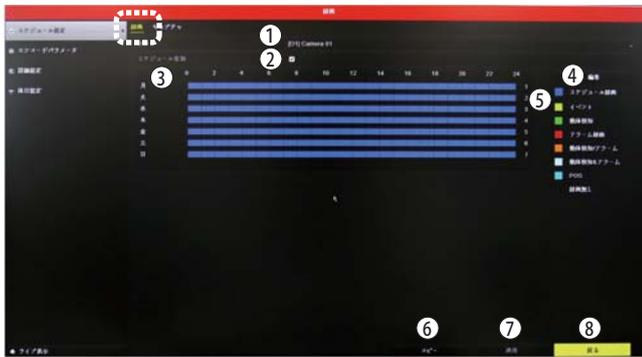
前の画面に戻ります

録画

スケジュール設定

スケジュール録画の設定を行います。

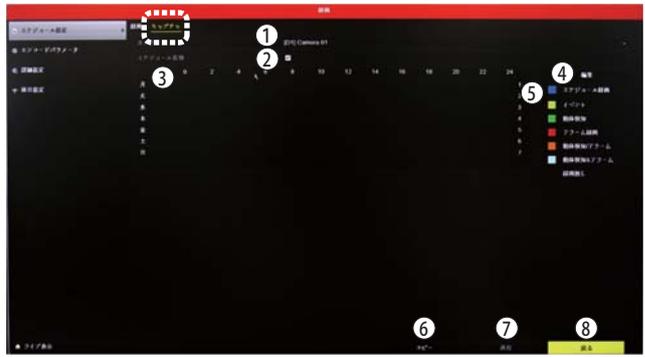
1 録画



- ① **カメラ**
設定したいカメラを選択します
- ② **スケジュール有効**
設定を有効にする場合チェックを入れます。
- ③ 設定状態が表示されます。
- ④ **編集**
スケジュールを編集します。
- ⑤ **各色の説明**
各色の説明です。
- ⑥ **コピー**
スケジュールを他カメラにコピーする際に使用します。
- ⑦ **適用**
設定した内容を保存します。
- ⑧ **戻る**
前の画面に戻ります。

キャプチャスケジュールを設定します。

2 キャプチャ



- ① **カメラ**
設定したいカメラを選択します
- ② **スケジュール有効**
設定を有効にする場合チェックを入れます。
- ③ 設定状態が表示されます。
- ④ **編集**
スケジュールを編集します。
- ⑤ **各色の説明**
各色の説明です。
- ⑥ **コピー**
スケジュールを他カメラにコピーする際に使用します。
- ⑦ **適用**
設定した内容を保存します。
- ⑧ **戻る**
前の画面に戻ります。

録画

エンコードパラメーター

エンコードに関する設定を行います



1 録画

① カメラ

設定したいカメラを選択します

② エンコーディングパラメーター

設定したいストリームを選択します。

③ ストリームタイプ

ビデオ、ビデオ&音声など録画方式を切り替えます。
※カメラの性能により表示が異なります。

④ 解像度

解像度を設定します

⑤ ビットレートタイプ

ビットレートタイプを可変、定数から選択します。
※可変にしておくことで容量を節約可能です。

⑥ 画質

画質を設定します。

⑦ フレームレート

フレームレートを設定します。

⑧ 最大ビットレート方式

最大ビットレート方式を選択します

⑨ 最大ビットレート(Kbps)

最大ビットレートを設定します。

⑩ 最大ビットレート推奨範囲

最大ビットレート推奨範囲を表示します。

⑪ ビデオエンコード

圧縮方式を選択します。
※通常H.265で使用してください。

⑫ H.265+を有効化

H.265+で録画をする場合に使用します。
※通常チェックを入れた状態で使用してください。

⑬ 詳細設定

詳細設定を行います
プレ録画…動体検知など発生の録画時間
ポスト録画…動体件など発生後の録画時間
ファイル有効期限…録画データを保存する期間を設定します。
音声記録…チェックで音声を記録します。
ビデオストリーム…メインかサブから選択します。

⑭ 適用

変更した設定を保存します

⑮ 戻る

前の画面に戻ります。

録画

2 Sub-Stream

サブストリームの設定を行います。



- ① **カメラ**
設定したいカメラを選択します
- ② **ストリームタイプ**
設定したいストリームを選択します。
- ③ **解像度(Max720P)**
解像度を設定します
- ④ **ビットレートタイプ**
ビットレートタイプを可変、定数から選択します。
※可変にしておくことで容量を節約可能です。
- ⑤ **画質**
画質を設定します。
- ⑥ **フレームレート**
フレームレートを設定します。
- ⑦ **最大ビットレート方式**
最大ビットレート方式を選択します
- ⑧ **最大ビットレート(Kbps)(Max2M)**
最大ビットレートを設定します。
- ⑨ **最大ビットレート推奨範囲**
最大ビットレート推奨範囲を表示します。
- ⑩ **ビデオエンコード**
圧縮方式を選択します。
※通常H.265で使用してください。
- ⑪ **適用**
変更した設定を保存します
- ⑫ **戻る**
前の画面に戻ります。

録画

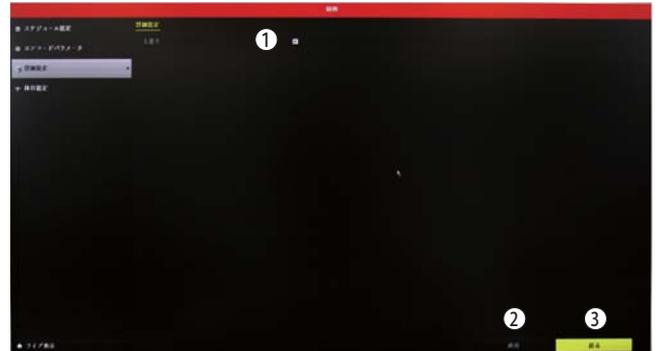
3 キャプチャ

キャプチャ録画の設定を行います。



- ① **カメラ**
設定したいカメラを選択します
- ② **パラメータタイプ**
スケジュール録画、イベント録画
それぞれの設定を行います。
- ③ **解像度**
解像度を設定します
- ④ **画質**
画質を設定します。
- ⑤ **間隔**
キャプチャ間隔を設定します。
- ⑥ **適用**
変更した設定を保存します
- ⑦ **戻る**
前の画面に戻ります。

詳細設定



上書き録画設定を行います。

- ① **上書き**
チェックを入れることで
上書き録画モードに切り替わります。
- ② **適用**
変更した設定を保存します
- ③ **戻る**
前の画面に戻ります。

休日設定



休日設定を行います。

- ① **編集**
メモマークをクリックすると設定画面が表示されます。
- ② **戻る**
前の画面に戻ります。

カメラ

カメラ

スケジュール録画とイベント録画の録画設定を行います。



1 IPカメラ

① IPカメラのパスワードを表示

チェックを入れることでIPカメラのパスワードを表示します。

② カメラ

カメラNoを表示します

③ 追加/削除

追加/削除を選択します

④ ステータス

カメラステータスを表示します。

⑤ セキュリティ

パスワードの状態を表示します。

⑥ IPカメラアドレス

IPカメラアドレスを表示します

⑦ 編集

カメラ情報を編集します

⑧ アップグレード

接続しているカメラのアップデートを実施します。

⑨ カメラ名

カメラ名を表示します。

⑩ プロトコル

プロトコルを表示します。

⑪ 更新

一覧を更新します。

⑫ ワンタッチのアクティベーション

H.265+で録画をする場合に使用します。

※通常チェックを入れた状態で使用してください。

⑬ アップグレード

チェックを入れたカメラのFWのアップデートを行います。

⑭ 削除

設定したカメラの削除を行います。

⑮ ワンタッチ追加

※本機では使用いたしません。

⑯ 手動で追加する

カメラを手動で追加します。

⑰ H.265を有効化

圧縮方式を選択します。

※通常H.265で使用してください。

⑱ 戻る

前の画面に戻ります。

2 カメラインポート/エクスポート

設定されたカメラ情報をインポート、エクスポートすることが可能です。

カメラ

3 PoE Configuration

PoEの設定を行います。



① PoE Channel

PoEのオン、オフを操作します。

② 各チャンネルの状態を表示します。

③ 戻る

前の画面に戻ります。

OSD

カメラの設定を行います。



① カメラ

設定するカメラを選択します。

② カメラ名

カメラ名が表示されます。

③ カメラ名表示

画面上のカメラ名表示のオン、オフを切り替えます。

④ 日付表示

画面上の日付表示のオン、オフを切り替えます。

⑤ 曜日表示

画面上の曜日表示のオン、オフを切り替えます。

⑥ 日付の表示形式

日付の表示形式を変更します。

⑦ 時間表示方式

時間表示を変更します。

⑧ 表示方式

テキストの表示状態を選択します。

⑨ 適用

変更した設定を反映します。

⑩ 戻る

元の画面に戻ります

イメージ



① カメラ

設定するカメラを選択します。

② モード

モードを選択します。

③ 輝度

輝度を調整します。

④ コントラスト

コントラストを調整します。

⑤ 彩度

彩度を調整します。

⑥ 回転モード有効

映像を回転します。

⑦ ミラーモード

映像を反転させます。

⑧ 適用

変更した設定を反映します。

⑨ 戻る

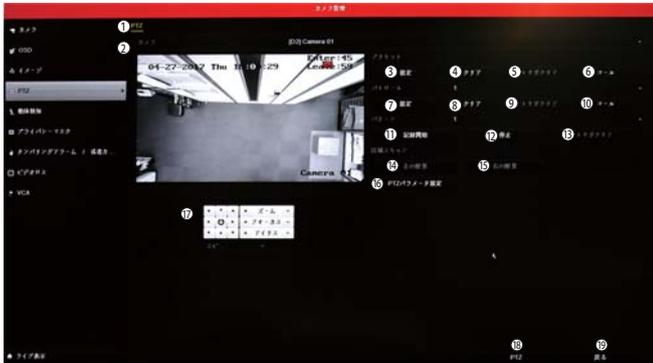
元の画面に戻ります。

カメラ

PTZ

PTZの操作、設定を行います。

※対応したカメラが接続されていない場合は選択できません。



- ① **カメラ**
設定するカメラを選択します。
- ② **カメラ映像**
カメラ映像が表示されます。

プリセット

- ③ **設定**
プリセットを設定します。
- ④ **クリア**
プリセットの設定をクリアします。
- ⑤ **トリガクリア**
設定内容をクリアします。
- ⑥ **コール**
設定したプリセットを呼び出します。

パトロール

- ⑦ **設定**
パトロールを設定します。
- ⑧ **クリア**
パトロールの設定をクリアします。
- ⑨ **トリガクリア**
トリガをクリアします。
- ⑩ **コール**
設定したパトロールを呼び出します。

パターン

- ⑪ **記録開始**
パターンの記録を開始します
- ⑫ **停止**
停止します
- ⑬ **トリガクリア**
トリガをクリアします。

区域スキャン

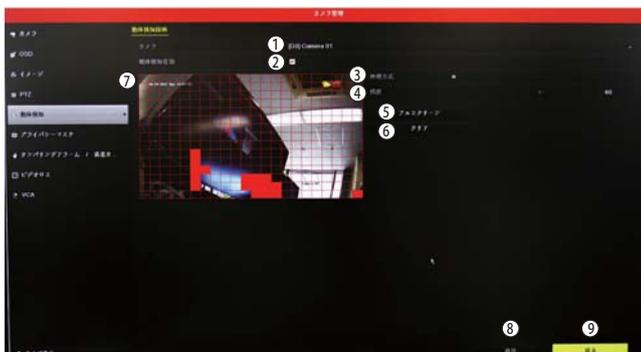
- ⑭ **左の限界**
※本機では使用いたしません。
- ⑮ **右の限界**
※本機では使用いたしません。
- ⑯ **PTZパラメータ設定**
PTZのパラメータを設定します。
- ⑰ **操作ボタン**
カメラの操作を行います。
- ⑱ **PTZ**
カメラを全画面に表示し設定を行います。
- ⑲ **戻る**
前の画面に戻ります。

カメラ

動体検知

動体検知の設定を行います

※対応したカメラが接続されていない場合は選択できません。



- ① **カメラ**
設定するカメラを選択します。
- ② **動体検知有効**
チェックを入れることで動体検知を有効にします。
- ③ **処理方式**
処理方式を選択します。
- ④ **感度**
感度を調整します。
- ⑤ **フルスクリーン**
すべてのエリアで検知致します。
- ⑥ **クリア**
設定をすべてクリアします。
- ⑦ **エリア設定**
赤枠が動体検知をするエリアです。
映像内をクリックすることで検知のON,OFFを切り替えることが可能です。
- ⑧ **適用**
設定した内容を保存します。
- ⑨ **戻る**
前の画面に戻ります。

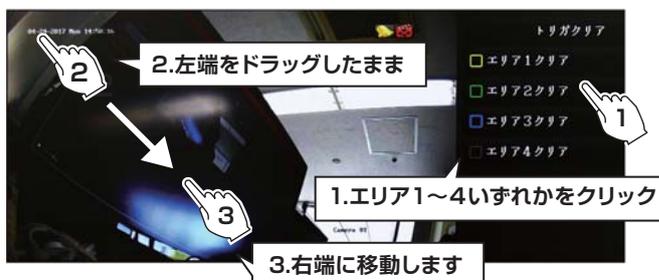
プライバシーマスク

プライバシーマスクの設定を行います

※対応したカメラが接続されていない場合は選択できません。



- ① **カメラ**
設定するカメラを選択します。
- ② **プライバシーマスクを有効**
チェックを入れるとプライバシーマスクを有効にします。
- ③ **トリガクリア**
設定したエリアを全てクリアします。
- ④ **エリア1~4クリア**
マスクをかけるエリアを①~④まで設定できます。

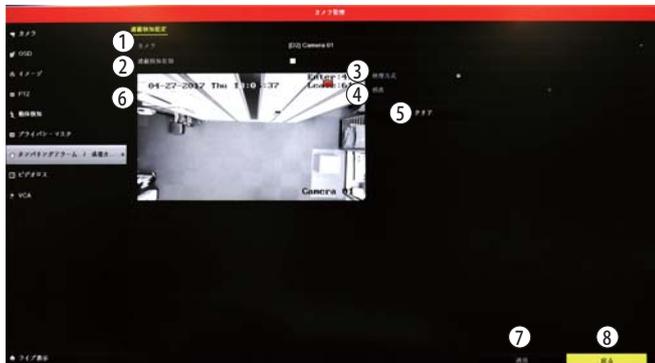


- ⑤ **適用**
設定した内容を保存します。
- ⑥ **戻る**
前の画面に戻ります。

カメラ

タンパリングアラーム

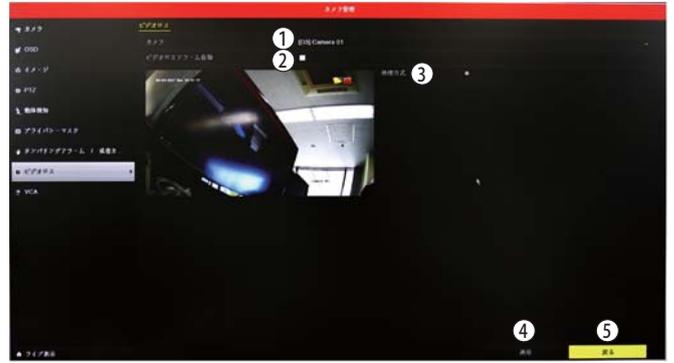
タンパリング（遮蔽検知）の設定を行います。
※対応したカメラが接続されていない場合は選択できません。



- ① カメラ**
設定するカメラを選択します。
- ② 遮蔽検知有効**
チェックを入れることで隠蔽検知を有効にします。
- ③ 処理方式**
検知の時間、検知時の動作を設定します。
- ④ 感度**
感度を調整します。
- ⑤ クリア**
設定をクリアします。
- ⑥ エリア設定**
エリアを設定致します。
- ⑦ 適用**
変更した設定を適用します。
- ⑧ 戻る**
前の画面に戻ります。

ビデオロス

ビデオロスの設定を行います
※対応したカメラが接続されていない場合は選択できません。



- ① カメラ**
設定するカメラを選択します。
- ② ビデオロスアラーム有効**
チェックを入れることでビデオロスアラームを有効にします。
- ③ 処理方式**
検知の時間、検知時の動作を設定します。
- ④ 適用**
変更した設定を適用します。
- ⑤ 戻る**
前の画面に戻ります。

VCA

※現在取り扱いの機種には対応していません。

設定

一般的なコントロール

基本的な設定を行います。



1 一般的なコントロール

- ① **言語**
言語を選択します。
- ② **VGA解像度**
VGA出力の解像度を設定します。
- ③ **HDMI解像度**
HDMIの解像度を設定します。
- ④ **タイムゾーン**
タイムゾーンを設定します。
- ⑤ **日付の表示形式**
日付の表示方式を設定します。
- ⑥ **システムの日付**
日付を設定します。
- ⑦ **システム時間**
時間を設定します。
- ⑧ **マウススピード**
マウススピードを調整します。
- ⑨ **ウィザード有効**
起動時に設定ウィザードを表示するかどうかを設定します。
- ⑩ **オペレーションパスワード**
機器操作時にパスワードの入力有無を設定します。
- ⑪ **適用**
変更した設定を反映します。

- ⑫ **戻る**
前の画面に戻ります。

2 サマータイム設定

※2017年4月末時点で設定は必要ありません。

3 詳細設定

詳細設定を行います。



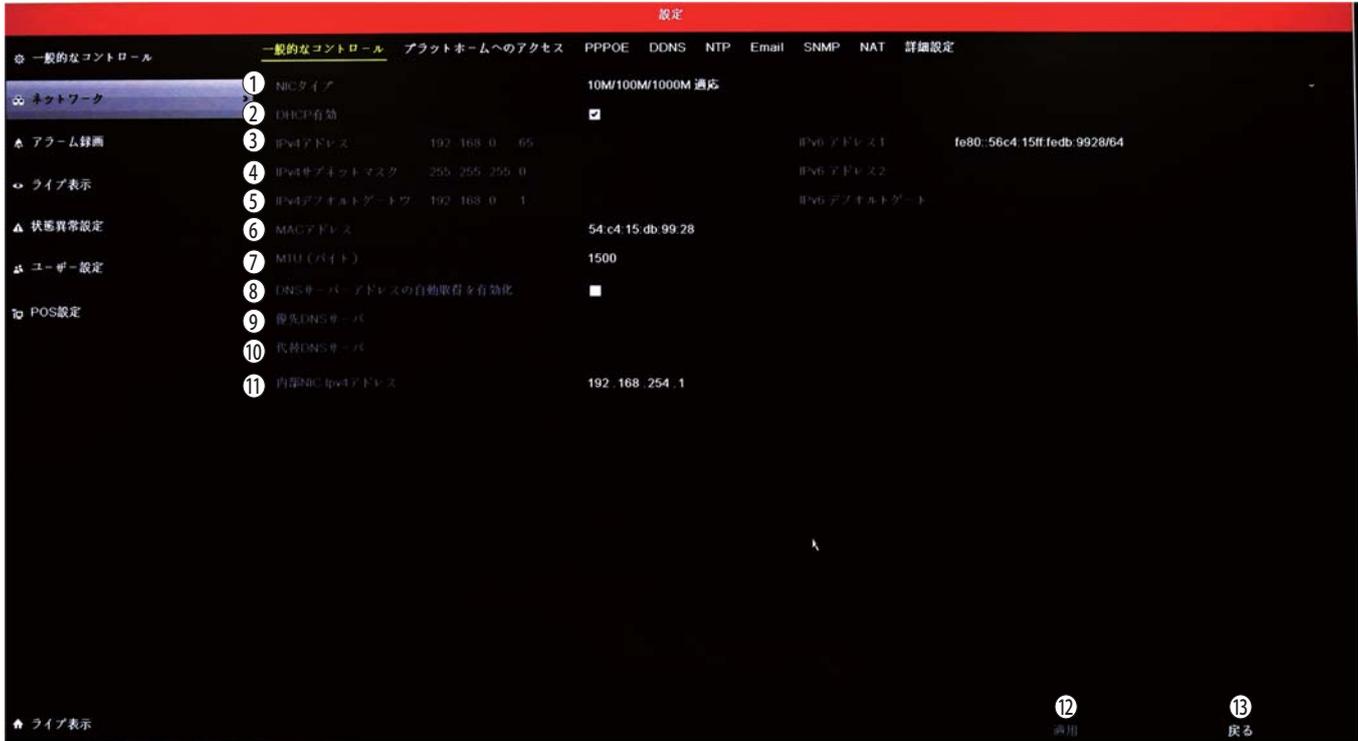
- ① デバイス名を表示します。
- ② デバイスNo (レコーダーの番号) を表示します。
- ③ パスワードロックまでの時間を設定します。
- ④ メニュー出力の切り替えを行います。
- ⑤ 設定の変更を保存します。
- ⑥ 前の画面に戻ります。

設定

ネットワーク

1 一般的なコントロール

ネットワークの基本的な設定を行います。



① NICタイプを選択します。

② DHCPのオン、オフを切り替えます。

③ IPアドレスを表示します。

④ サブネットマスクを表示します。

⑤ デフォルトゲートウェイを表示します。

⑥ MACアドレスを表示します。

⑦ MTU (バイト) の上限を表示します。

⑧ DNSサーバーアドレスを自動的に取得します。

⑨ 優先DNSサーバを設定します。

⑩ 代替DNSサーバを設定します。

⑪ 内部NICのアドレスを表示します。

⑫ 設定した変更を反映します。

⑬ 元の画面に戻ります。

2 プラットホームへのアクセス

※本機では使用致しません。

3 PPPOE

※本機では使用致しません。

4 DDNS

※本機では使用致しません。

遠隔監視の際は固定IPアドレスをご準備ください。

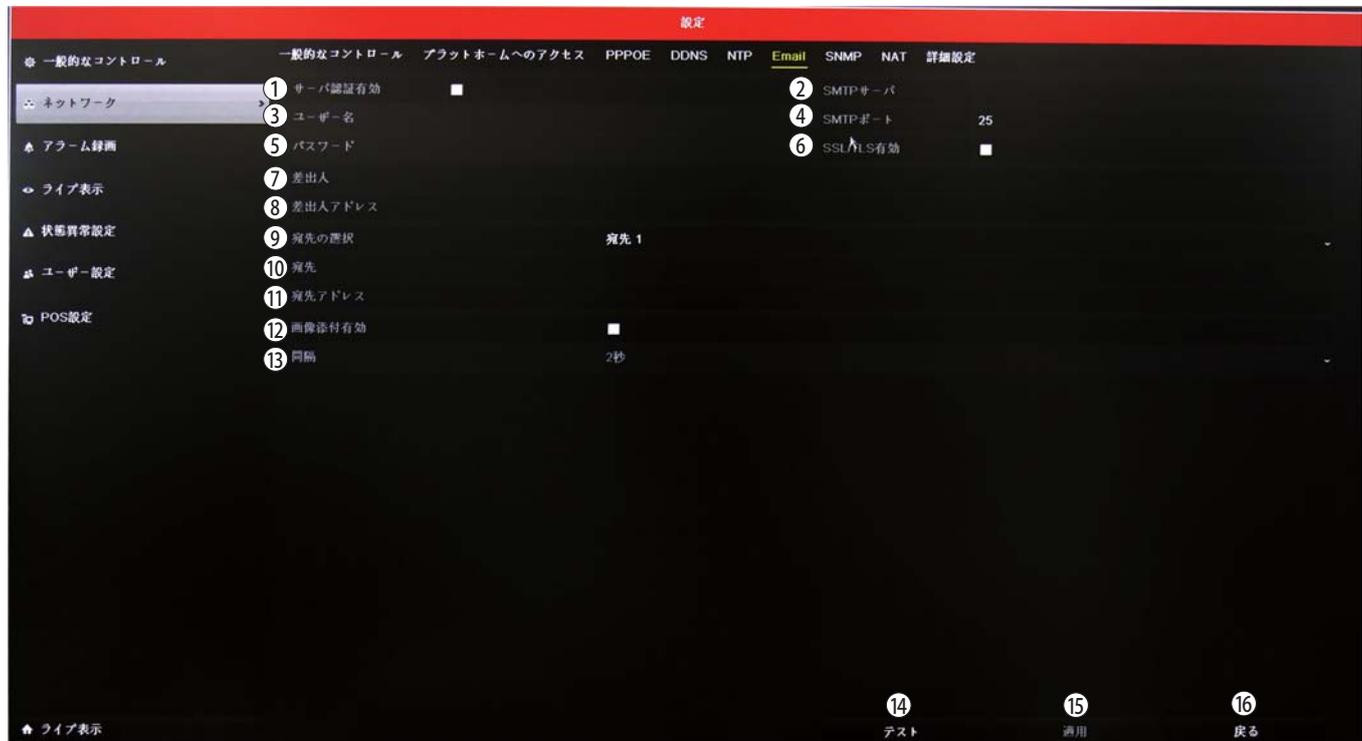
5 NTP

NTPサーバと同期することで自動で日時調整を行います。

設定

6 Email

動体検知時などにEメールを送信する設定を行います。



- ① サーバ認証を設定します。
- ② SMTPサーバを入力します。
- ③ ユーザー名を入力します。
- ④ SMTPポートを入力します。
- ⑤ パスワードを入力します。
- ⑥ SSLの設定を行います。
- ⑦ 差出人の名前を入力します。
- ⑧ 差出人のアドレスを入力します。
- ⑨ 宛先を選択します。
- ⑩ 宛先の名前を入力します。
- ⑪ 送付先のアドレスを入力します。
- ⑫ 画像添付の有無を選択します。
- ⑬ メール送信の間隔を設定します。

- ⑭ テスト送信を行います。
- ⑮ 変更した設定を適用します。
- ⑯ 前の画面に戻ります。

7 SNMP

※本機では使用致しません

8 NAT

通信で使用されるポート番号の一覧です。
※遠隔監視の場合はこの全てのポートを開放してください。

9 詳細設定

ポート番号などの情報が表示されます。
遠隔監視を行う場合、これらのポート番号を開放してください。

設定

アラーム録画

1 アラーム録画

アラーム設定の状態を表示します。



- ① アラーム入力Noが表示されます。
- ② アラーム名が表示されます。
- ③ アラームタイプが表示されます。
- ④ アラーム出力Noを表示します。
- ⑤ アラーム名を表示します。
- ⑥ アラーム出力時間を表示します。
- ⑦ 前の画面に戻ります。

2 アラーム入力

アラーム入力の設定を行います。



- ① 力Noを選択します。
- ② アラーム名を入力します。
- ③ アラームタイプを設定します。
- ④ チェックを入れると有効になります。
- ⑤ 本機では使用致しません。
- ⑥ トリガーチャンネル、スケジュールを設定します。

- ⑦ 設定を別のチャンネルにコピーします。
- ⑧ 変更した設定を適用します。
- ⑨ 前の画面に戻ります。

3 アラーム出力

アラーム出力の設定を行います。



- ① 設定したいアラーム入力Noを選択します。
- ② アラーム名を入力します。
- ③ アラーム出力時間を設定します。
- ④ トリガーチャンネル、スケジュールを設定します。
- ⑤ 設定を別のチャンネルにコピーします。
- ⑥ 変更した設定を適用します。
- ⑦ 前の画面に戻ります。

設定

ライブ表示

1 一般的なコントロール

ライブ表示の設定を行います。



- ① 接続されているインターフェイスを表示します。
- ② ライブ映像の表示形式を設定します。
- ③ シーケンスの映像切り替え時間を設定します。
- ④ 音声の出力を有効にします。
※別途集音マイクが必要です
- ⑤ ボリュームを設定します。
- ⑥ イベント発生時のポップアップを出力するモニターを選択します。
- ⑦ フルスクリーンで表示する時間を設定します。
- ⑧ 変更した設定を適用します。
- ⑨ 前の画面に戻ります。

2 表示

表示の設定を行います。



- ① 接続されているインターフェイスを表示します。
- ② 各カメラのストリームタイプを切り替えます。

- ③ 全画面の設定に切り替えます。
- ④ 4分割の設定に切り替えます。
- ⑤ 6分割の設定に切り替えます。
- ⑥ 8分割の設定に切り替えます。
- ⑦ 16分割ボリュームを設定します。
- ⑧ 各場所にカメラを自動的に割り振ります。
- ⑨ 設定を全てクリアします。
- ⑩ 前のページに戻ります。
- ⑪ 次のページに進みます。
- ⑫ 設定した内容を適用します。
- ⑬ 前のページに戻ります。

3 チャンネルゼロエンコーディング

こちらの機能を有効にすると、各チャンネルごとではなく、画面全体を一つの映像として記録します。
※データ容量を節約することは可能ですが、1画面表示などができなくなります。

設定

状態異常設定

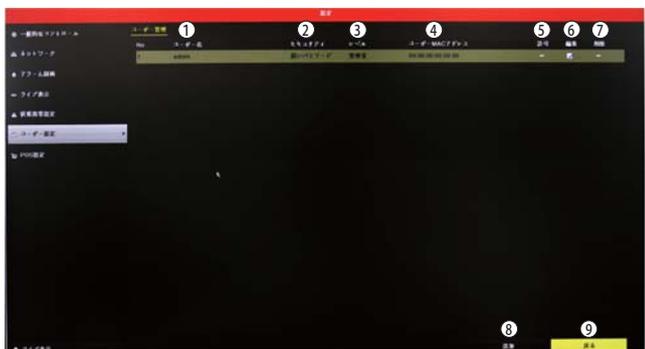
状態異常検知の設定を行います。



- ① 異常表示を有効にします。
- ② 検知した際に表示するイベントを設定します。
- ③ 異常検知タイプを選択します。
- ④ チェックを入れると、③で選択した異常の際にアラームで警告します
- ⑤ チェックを入れると、③で選択した異常の際にプッシュ通知で警告します
- ⑥ チェックを入れると、③で選択した異常の際にメールで警告します
- ⑦ チェックを入れると、③で選択した異常の際にアラームで警告します
- ⑧ 設定した変更を反映します。
- ⑨ 前の画面に戻ります。

ユーザー設定

ユーザーの設定を行います。



- ① ユーザー名を表示します。
- ② 設定されているパスワードのセキュリティレベルを表示します。

- ③ 権限レベルを表示します。
- ④ ユーザーのMACアドレスを表示します。
- ⑤ 許可する動作を選択します。
- ⑥ アカウントの編集を行います。
- ⑦ アカウントを削除します。
※adminは削除できません。
- ⑧ アカウントの追加を行います。
- ⑨ 前の画面に戻ります。

POS設定

※本機では使用致しません。

システムメンテナンス

システム情報

1 デバイス情報

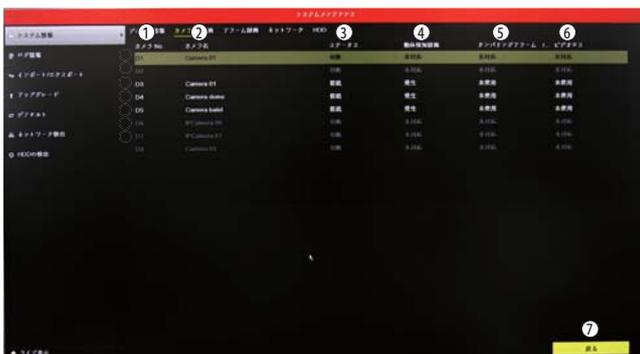
機器の情報が表示されます。



- ① デバイス名が表示されます。
- ② 型番が表示されます。
- ③ シリアルNoが表示されます。
- ④ ファームウェアバージョンが表示されます。
- ⑤ 前の画面に戻ります。

2 カメラ

カメラの情報が表示されます。



- ① 接続されているカメラに割り振られている番号を表示します。
- ② カメラ名が表示されます。
- ③ ステータスが表示されます。
- ④ 動体検知録画の対応状況が表示されます。
- ⑤ タンパリングアラームの対応状況が表示されます。
- ⑥ ビデオロス検知の対応状況が表示されます。
- ⑦ 前の画面に戻ります。

3 録画



- ① 接続されているカメラに割り振られている番号を表示します。
- ② 稼働状況を表示します。
- ③ ストリームタイプを表示します。画像だけ転送するときは「ビデオ」で表示する。画像と音同時に転送するときは「映像&音声」で表示されます。
- ④ フレームレートを表示します。
- ⑤ ビットレートを表示します。
x x x (実際値) / y y y (最大値)
- ⑥ 解像度を表示します。
- ⑦ 録画タイプを表示します。
- ⑧ 録画タイプが表示されます。
- ⑨ 本機では使用致しません。
- ⑩ 前の画面に戻ります。

システムメンテナンス

4 アラーム録画



- ① 設定されているアラームの番号が表示されます。
- ② アラーム名が表示されます。(設定が無い場合は空欄です)
- ③ アラームタイプが表示されます。
- ④ アラームの状態が表示されます。
- ⑤ アラームのトリガ(きっかけ)になっているカメラを表示します。
- ⑥ 前の画面に戻ります。

5 ネットワーク

ネットワークに関連する各項目の設定情報が表示されます。

6 HDD



- ① 接続されているHDDに割り振られている番号を表示します。
- ② ステータスを表示します。
- ③ HDDの総容量を表示します。

- ④ HDDの空き容量を表示します。
- ⑤ HDDの書き込み状態を表示します。
- ⑥ 本機では使用致しません。
- ⑦ 本機では使用致しません。
- ⑧ 搭載されているHDDの総容量を表示します。
- ⑨ 搭載されているHDDの総空き容量を表示します。
- ⑩ 前の画面に戻ります。

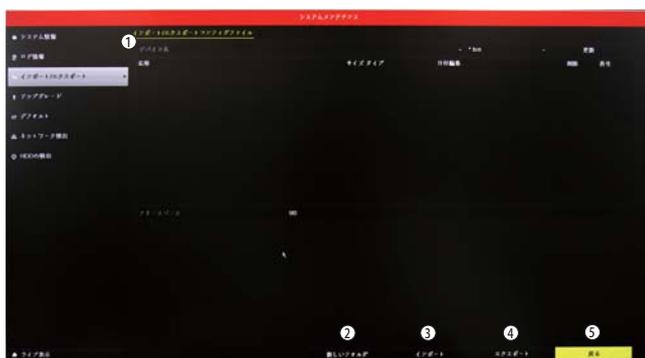
ログ情報



- ① 検索したい期間の開始時間を設定します。
- ② 検索したい期間の終了時間を設定します。
- ③ 検索するアラームの絞り込みを行います。
- ④ 各項目にチェックを入れると⑥の検索をすることで絞り込みが可能です。
- ⑤ 表示されているログリストを全てコピーすることが可能です。
- ⑥ ④でチェックを入れたリストのログを検索致します。
- ⑦ 前の画面に戻ります。

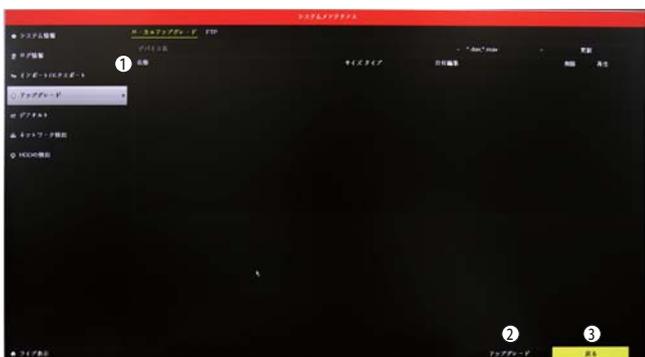
システムメンテナンス

インポート/エクスポート



- ① 接続しているデバイスに保存されているデータが表示されます
- ② 接続しているデバイスに新しいフォルダを作成します。
- ③ 接続しているデバイスから設定を読み込みます。
※同じF/Wでない場合は、読み込みができません。
- ④ 接続しているデバイスに設定をコピーします。
- ⑤ 前の画面に戻ります。

アップグレード



- ① 接続しているデバイスに保存されているデータが表示されます。
- ② ①に表示されている中からデータを選択し、アップグレードが可能です。
- ③ 前の画面に戻ります。

デフォルト



- ① ネットワーク関連および、ユーザーアカウントパラメータを除く設定を初期化します。
- ② 全ての設定を初期化します。
- ③ 内蔵HDDの接続含めて全て初期化致します。
※こちらはメーカーメンテナンス用の為操作は行わないでください。
- ④ 前の画面に戻ります。

ネットワーク検出

1 トラフィック



- ① トラフィックを表示します。
- ② LANの名称 (標準は通し番号) が表示されます。
- ③ 接続状態が表示されます。
- ④ 接続タイプが表示されます。
※イーサネットと表示されます
- ⑤ 本体のMACアドレスを表示します。
- ⑥ 各パッケージの上限容量です。
- ⑦ NICタイプを表示します。
- ⑧ ①にグラフが表示されております。
- ⑨ 前の画面に戻ります。

システムメンテナンス

2 ネットワーク検出

通信環境のチェックを行うことができます。



- ① チェックするNICを選択します。
- ② 宛先アドレスを入力します。
- ③ デバイス名を入力します。
- ④ 使用致しません。
- ⑤ 現在のIPアドレスなどを表示します。
- ⑥ 前の画面に戻ります。

3 ネットワークスタート

それぞれの項目で使用している帯域を表示します。

HDDの検知

1 S.M.A.R.T設定



- ① ・チェックを入れた場合
自己診断の結果一部に異常が見つかった場合でも使用を続けます。
・チェックを外した場合
自己診断の結果一部にでも異常が見つかった場合、HDDの使用を停止します。

※録画がストップしてしまう為、チェックを入れて自己診断をお願いします。

- ② 表示するHDDを選択します。
- ③ テストの進捗率が表示されます。
- ④ テストのタイプを選択します。
- ⑤ 温度を表示します。
- ⑥ HDDのチェックを行います。
- ⑦ 使用時間(日数)を表示します。
- ⑧ HDD,システム異常すべてのチェックを行います。
- ⑨ SMART情報が表示されます。
- ⑩ SMART情報が表示されます。
- ⑪ 変更した設定を適用します。
- ⑫ 前の画面に戻ります。

システムメンテナンス

シャットダウン

2 不良セクタ検出



- ① HDDの番号を表示します。
- ② チェックする領域を選択します。
- ③ チェックを開始します。
- ④ HDDの容量が表示されます。
- ⑤ ブロック容量が表示されます。
- ⑥ チェックの進捗が表示されます。
- ⑦ チェックの結果エラーがあった数を表示します。
- ⑧ エラー情報が表示されます。
- ⑨ テストを一時停止します。
- ⑩ テストをキャンセルします。
- ⑪ 前の画面に戻ります。
- ⑫ チェックの状態が表示されます。



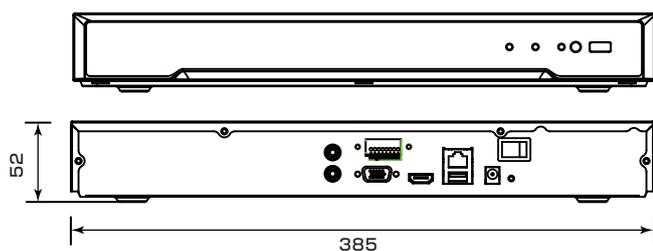
- ① ログアウトし、レコーダーの操作にロックをかけます
- ② 電源を落とします。
- ③ 再起動します。

仕様 RD-RN5008シリーズ

型番	RD-RN5008 / RD-RN5009	RD-RN5016 / RD-RN5017
録画解像度	4MP/3MP/1080p/UXGA/720p/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF	
録画記録方式	H.265/H.265+/H.264/H.264+/MPEG4	
映像入力	LANポート8ch	LANポート16ch
映像出力	HDMI×1、VGA×1	
分割表示	全画面、4分割、9分割	全画面、4分割、9分割、16分割
音声入力/出力	1入力(RCA) / 1出力(RCA)	
内蔵HDD容量	4TB/8TB	
録画モード	自動録画、手動録画、スケジュール録画、センサー録画、モーション録画	
バックアップ方法	USBフラッシュメモリー、ネットワーク	
アラーム入力/出力	4入力 / 1出力 (NO/NC)	
アラーム検出	N.C./N.O. 選択可能	
モーション検知	あり	
ビデオロス検知	あり	
上書き機能	あり	
対応OS	Windows7・Windows8・Windows10・MAC	
リモート操作	ライブ監視、再生、録画、システム設定	
モバイル監視	iPhone/iPad/Android	
対応アプリ	iVMS-4500	
外形寸法	約385 (幅) × 315 (奥行) × 52 (高さ) mm	
重量	約3kg (HDD未装着時)	
動作環境温度/湿度	-5度~40度/湿度:10%~90%	
電源	AC100V (付属ケーブル) / 180W	AC100V (付属ケーブル) / 280W
付属品	取扱説明書、電源アダプター、HDMIケーブル、USBマウス、リモコン	

■ 外形寸法図(単位:mm)

RD-RN5008/5016シリーズ



故障かな?と思ったら

症状	原因	処置のしかた
電源が入らない	電源コンセントが外れている	確実にコンセントに差し込む ACアダプターの繋ぎめの確認
	ACアダプターの通電不良	レコーダーに接続していない状態でACアダプター単体のランプが点灯しているか確認
モニタに映像が出ない	解像度があっていない	設定にてモニター解像度の変更が可能です。
録画できない	ハードディスクが認識していない	ハードディスクの交換修理が必要です。
モーション録画ができない	設定の一部が間違っている	設定の見直しと、手動録画の解除
	手動録画になっている	
日付と時刻の表示がない	時計、日付表示がOFFになっている	設定の見直しが必要です。
フリーズする	ハードディスクが認識していない	ハードディスクもしくは基盤の交換修理が必要です。
	基盤不良の可能性	
本体から異音がる	ファンもしくはハードディスクの異音	ファンもしくはハードディスクの交換修理が必要です。

■電源が瞬断した場合
録画スピードや時刻が変化することがありますが、これは異常ではありません。
また、再生は停止しますが録画は電源が復帰するとふたたび録画状態になります。

■システムダウン
もし、まったく動作しなくなったときは、次の手順で確認してください。
① 電源を入切する。
② ①を繰り返しおこなっても動作しないときは、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

●本機（ハードディスクデジタルレコーダー）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。

詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけくわしく）
- ② 品名と品番
（4K 8chDVR RD-RN5008など）
- ③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
- ④ 製造番号（保証書に記入）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

製品についてのお問い合わせ

ネット業界初！サポート専用ダイヤル



092-707-2002

【受付時間】(平日) 9:00~18:00 (土・日・祝) 休